



基安安発第 0831001 号
基安労発第 0831001 号
基安化発第 0831001 号
平成 18 年 8 月 3 1 日

都道府県労働局労働基準部
安全衛生主務課長 殿

厚生労働省労働基準局安全衛生部
安 全 課 長
労 働 衛 生 課 長
化学物質対策課長
(公印省略)

平成 18 年度自律的安全衛生管理活動普及促進事業
(労働災害防止特別安全衛生診断事業) 実施細目について

自律的安全衛生管理活動普及促進事業(労働災害防止特別安全衛生診断事業)については、平成18年5月15日付け基発第0515001号「自律的安全衛生管理活動普及促進事業(労働災害防止特別安全衛生診断事業)の実施について」の別添「自律的安全衛生管理活動普及促進事業(労働災害防止特別安全衛生診断事業)実施要綱」に基づき実施することとされており、その細目については別に定めることとされているが、平成18年度の本事業について、別添1のとおり「平成18年度自律的安全衛生管理活動普及促進事業(労働災害防止特別安全衛生診断事業)実施細目」(以下「実施細目」という。)を定めたので了知するとともに、下記の事項に留意の上、本事業の円滑な実施に努められたい。

なお、社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会会長に対しては、別添2のとおり通知していることを申し添える。

記

- 1 対象事業場は、別紙1に示す事業場とすること。なお、事業場名の左側に「(予)」と示した事業場については、今回対象としないが、対象事業場の協力が得られなかった場合等に順次対象とする予定であること。
- 2 中小企業等安全衛生診断員は、別紙2に示す候補者の中からコンサルタント会会長が選任すること。
- 3 コンサルタント会の支部等から、実施細目の第1の5に示す打合せ会について、

貴課に対し担当官の出席方依頼があった場合にはこれに応じるとともに、必要な指導を行うこと。

- 4 安全衛生診断の実施後、対象事業場から、都道府県労働局長あて「安全衛生診断改善報告書（安全診断関係）」（様式3-1）、「安全衛生診断改善報告書（リスクアセスメント診断関係）」（様式3-2）、「安全衛生診断改善報告書（労働衛生診断関係）」（様式3-3）が提出されるが、当該報告書の内容を点検し、安全管理上又は労働衛生管理上その改善が不十分と判断される事項については、対象事業場に対して必要な指導等を実施し改善措置を講じさせること。

平成18年度自律的安全衛生管理活動普及促進事業
(労働災害防止特別安全衛生診断事業) 実施細目

目 次

- 第1 平成18年度自律的安全衛生管理活動普及促進事業(労働災害防止特別安全衛生診断事業)の概要
 - 1 事業の委託について
 - 2 実施計画の作成について
 - 3 安全衛生診断実施対象事業場の選定等について
 - 4 安全衛生診断員の選定について
 - 5 安全衛生診断実施打合せ会の開催について
 - 6 安全衛生診断の実施について
 - 7 安全衛生診断実施結果報告書の作成及び報告について
 - 7-1 安全診断の場合
 - 7-2 リスクアセスメント診断の場合
 - 7-3 労働衛生診断の場合
 - 8 安全衛生診断実施後の措置について
 - 8-1 安全診断の場合
 - 8-2 リスクアセスメント診断の場合
 - 8-3 労働衛生診断の場合
 - 9 安全衛生診断実施完了報告について
- 第2 対象事業場
 - 1 選定基準について
 - 1-1 安全診断の場合
 - 1-2 リスクアセスメント診断の場合
 - 1-3 労働衛生診断の場合
 - 2 対象事業場の数等について
- 第3 安全衛生診断員
 - 1 安全衛生診断員の要件について
 - 2 安全衛生診断を実施する際の安全衛生診断員の基本的な態度について
- 第4 安全衛生診断実施上の留意事項
 - 1 選定基準区分別の安全衛生診断の実施について
 - 1-1 安全診断の場合

1-2 リスクアセスメント診断の場合

1-3 労働衛生診断の場合

2 対象事業場の範囲等について

第5 安全衛生診断の費用等

第6 様式

平成18年度自律的安全衛生管理活動普及促進事業
(労働災害防止特別安全衛生診断事業) 実施細目

第1 平成18年度自律的安全衛生管理活動普及促進事業(労働災害防止特別安全衛生診断事業)の概要

1 事業の委託について

労働災害防止特別安全衛生診断事業は、社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会(以下「コンサルタント会」という。)に委託して行う。

2 実施計画の作成について

コンサルタント会会長は、実施計画を作成し、厚生労働省労働基準局長に提出するものとする。

3 安全衛生診断実施対象事業場の選定等について

- (1) 安全衛生診断実施対象事業場(以下「対象事業場」という。)は、第2の1の選定基準に該当するものであって、あらかじめ把握した候補事業場の中から、厚生労働省において選定するものとする。
- (2) 対象事業場数は、安全診断、リスクアセスメント診断及び労働衛生診断について、それぞれ全国で211事業場、200事業場及び62事業場とする。
- (3) 都道府県ごとの対象事業場数は、各都道府県の中小企業等安全衛生診断員(以下「安全衛生診断員」という。)の状況等を考慮して厚生労働省において決定する。

4 安全衛生診断員の選定について

- (1) 対象事業場に係る安全衛生診断は、第3の1に示す要件を満たす安全衛生診断員により実施する。
- (2) 安全衛生診断員は、あらかじめ把握した安全衛生診断員候補の中から、コンサルタント会会長が選任するものとする。

5 安全衛生診断実施打合せ会の開催について

- (1) コンサルタント会の都道府県支部等は打合せ会を開催し、対象事業場ごとに担当する安全衛生診断員を決定するものとする。
なお、第2の1の1-1の(3)の事業場の安全診断を担当する安全衛生診断員については、外国人労働者の就労する事業場(外国人研修生を受け入れている事業場を含む。)の安全診断・指導を実施した経験又は海外の事業場において管理者としてその国の労働者を管理監督した経験を有する者等を選任するよう配慮すること。

また、第2の1の1-1の(4)の事業場の安全診断を担当する安全衛生

診断員については、過去に当該事業場の安全診断を担当した者が望ましいこと。

- (2) 第2の1の1-2の事業場に対するリスクアセスメント診断に係る安全衛生診断員については、コンサルタント会の労働安全衛生マネジメントシステム監査員として登録されている者等リスクアセスメントに係る知識・経験を有する者を選任するよう配意すること。
- (3) コンサルタント会の都道府県支部等は、必要に応じ、打合せ会に、所轄の都道府県労働局労働基準部安全衛生主務課長、地方産業安全専門官、地方労働衛生専門官等の出席を依頼し、対象事業場に係る安全管理上又は労働衛生管理上留意すべき事項等について指示等を受けるものとする。

6 安全衛生診断の実施について

- (1) 安全衛生診断員が安全衛生診断を行うに当たっては、対象事業場に対して、あらかじめ本安全衛生診断が厚生労働省の委託により実施されるものであることを了知させた上で行うこと。
- (2) 安全衛生診断は、対象事業場の責任者等の立会いを求めて行い、安全衛生診断の終了後、当該責任者等に対して改善を必要とする事項の概略を口頭で説明し、安全衛生診断の実施結果は、後日文書をもって連絡する旨説明すること。
- (3) 安全衛生診断員は、安全衛生診断の終了後、安全診断の場合には「安全衛生診断実施確認書（安全診断関係）」（様式1-1）、リスクアセスメント診断の場合には「安全衛生診断実施確認書（リスクアセスメント診断関係）」（様式1-2）、労働衛生診断の場合には「安全衛生診断実施確認書（労働衛生診断関係）」（様式1-3）をそれぞれ作成し、事業場の代表者の確認印を受領すること。

7 安全衛生診断実施結果報告書の作成及び報告について

7-1 安全診断の場合

- (1) 安全衛生診断員は、安全診断の実施後、速やかに「安全衛生診断実施結果報告書（一般の安全診断関係）」（様式2-1）、「安全衛生診断実施結果報告書（外国人労働者の労働災害に係る安全診断関係）」（様式2-2）及び「労働災害要因分析結果表（安全診断関係）」（様式5）を作成すること。
- (2) 安全衛生診断員は、(1)に加えて、第2の1の1-1の(4)の事業場（再診断に係るもの）については、「安全衛生診断分析評価結果報告書（安全診断関係）」（様式6）を作成すること。
- (3) 安全衛生診断員は、(1)で作成した「安全衛生診断実施結果報告書（一般の安全診断関係）」（様式2-1）、「安全衛生診断実施結果報告書（外国人労働者の労働災害に係る安全診断関係）」（様式2-2）及び「安全衛生診断改善報告書（安全診断関係）」（様式3-1）を、対象事業場の代表者あて送付すること。

- (4) 安全衛生診断員は、(1) で作成した「安全衛生診断実施結果報告書（一般の安全診断関係）」（様式 2-1）の写し、「安全衛生診断実施結果報告書（外国人労働者の労働災害に係る安全診断関係）」（様式 2-2）の写しの提出により、実施した安全診断の結果を所轄の都道府県労働局長に対して報告すること。
- (5) 安全衛生診断員は、「安全衛生診断実施確認書（安全診断関係）」（様式 1-1）、「安全衛生診断実施結果報告書（一般の安全診断関係）」（様式 2-1）の写し、「安全衛生診断実施結果報告書（外国人労働者の労働災害に係る安全診断関係）」（様式 2-2）の写し、「労働災害要因分析結果表（安全診断関係）」（様式 5）及び「安全衛生診断分析評価結果報告書（安全診断関係）」（様式 6）をコンサルタント会会長に提出すること。

7-2 リスクアセスメント診断の場合

- (1) 安全衛生診断員は、リスクアセスメント診断の実施後、速やかに「安全衛生診断実施結果報告書（リスクアセスメント診断関係）」（様式 2-3）を作成すること。
- (2) 安全衛生診断員は、(1) で作成した「安全衛生診断実施結果報告書（リスクアセスメント診断関係）」（様式 2-3）及び「安全衛生診断改善報告書（リスクアセスメント診断関係）」（様式 3-2）を、対象事業場の代表者あて送付すること。
- (3) 安全衛生診断員は、(1) で作成した「安全衛生診断実施結果報告書（リスクアセスメント診断関係）」（様式 2-3）の写しの提出により、実施したリスクアセスメント診断の結果を所轄の都道府県労働局長に対して報告すること。
- (4) 安全衛生診断員は、「安全衛生診断実施確認書（リスクアセスメント診断関係）」（様式 1-2）及び「安全衛生診断実施結果報告書（リスクアセスメント診断関係）」（様式 2-3）の写しを、コンサルタント会会長に提出すること。

7-3 労働衛生診断の場合

- (1) 安全衛生診断員は、労働衛生診断の実施後、速やかに「安全衛生診断実施結果報告書（労働衛生診断関係）」（様式 2-4）を作成すること。
- (2) 安全衛生診断員は、(1) で作成した「安全衛生診断実施結果報告書（労働衛生診断関係）」（様式 2-4）及び「安全衛生診断改善報告書（労働衛生診断関係）」（様式 3-3）を、対象事業場の代表者あて送付すること。
- (3) 安全衛生診断員は、(1) で作成した「安全衛生診断実施結果報告書（労働衛生診断関係）」（様式 2-4）の写しの提出により、実施した労働衛生診断の結果を所轄の都道府県労働局長に対して報告すること。
- (4) 安全衛生診断員は、「安全衛生診断実施確認書（労働衛生診断関係）」（様式 1-3）及び「安全衛生診断実施結果報告書（労働衛生診断関係）」（様式 2-4）を、コンサルタント会会長に提出すること。

式 2 - 4) の写しを、コンサルタント会会長に提出すること。

8 安全衛生診断実施後の措置について

8-1 安全診断の場合

- (1) 安全衛生診断員は、安全診断実施後に行う対象事業場の責任者等に対する口頭による説明の際に、後日対象事業場の代表者あて送付する「安全衛生診断実施結果報告書（一般の安全診断関係）」（様式 2 - 1）、「安全衛生診断実施結果報告書（外国人労働者の労働災害に係る安全診断関係）」（様式 2 - 2）中の「現状及び指導事項」について、同封する「安全衛生診断改善報告書（安全診断関係）」（様式 3 - 1）の提出により、所轄の都道府県労働局長に対し、診断実施後 1 ヶ月以内、遅くとも平成 19 年 3 月末日までに報告するとともに、その写しを安全衛生診断員あて送付するよう指導すること。
- (2) 都道府県労働局長は、安全衛生診断員又は対象事業場の代表者から報告された「安全衛生診断実施結果報告書（一般の安全診断関係）」（様式 2 - 1）の写し、「安全衛生診断実施結果報告書（外国人労働者の労働災害に係る安全診断関係）」（様式 2 - 2）の写しの内容及び「安全衛生診断改善報告書（安全診断関係）」（様式 3 - 1）の内容を検討し、その写しを対象事業場を管轄する労働基準監督署長あて通知すること。なお、当該通知を受けた労働基準監督署長は、必要に応じ対象事業場に対し指導等を実施すること。
- (3) コンサルタント会会長は、安全診断の実施結果について、労働災害要因分析、主要な問題点、安全水準向上対策等を取りまとめるものとする。

8-2 リスクアセスメント診断の場合

- (1) 安全衛生診断員は、リスクアセスメント診断実施後に行う対象事業場の責任者等に対する口頭による説明の際に、後日対象事業場の代表者あて送付する「安全衛生診断実施結果報告書（リスクアセスメント診断関係）」（様式 2 - 3）中の「現状及び指導事項」に対する改善事項を、同封する「安全衛生診断改善報告書（リスクアセスメント診断関係）」（様式 3 - 2）の提出により、所轄の都道府県労働局長に対し、診断実施後 1 ヶ月以内、遅くとも平成 19 年 3 月末日までに報告するとともに、その写しを安全衛生診断員あて送付するよう指導すること。
- (2) 都道府県労働局長は、安全衛生診断員又は対象事業場の代表者から報告された「安全衛生診断実施結果報告書（リスクアセスメント診断関係）」（様式 2 - 3）の写し及び「安全衛生診断改善報告書（リスクアセスメント診断関係）」（様式 3 - 2）の内容を検討し、その写しを対象事業場を管轄する労働基準監督署長あて通知すること。なお、当該通知を受けた労働基準監督署長は、必要に応じ対象事業場に対し指導等を実施すること。

- (3) コンサルタント会会長は、リスクアセスメント診断の実施結果について、各事業場に共通するリスクの把握等リスクアセスメント結果についての分析、主な問題点、安全水準向上対策等を取りまとめるものとする。

8-3 労働衛生診断の場合

- (1) 安全衛生診断員は、労働衛生診断実施後に行う対象事業場の責任者等に対する口頭による説明の際に、後日対象事業場の代表者あて送付する「安全衛生診断実施結果報告書（労働衛生診断関係）」（様式2-4）中の「現状及び指導事項」については、同封する「安全衛生診断改善報告書（労働衛生診断関係）」（様式3-3）の提出により、所轄の都道府県労働局長に対し、診断実施後1ヶ月以内、遅くとも平成19年3月末日までに報告するとともに、その写しを安全衛生診断員あて送付するよう指導すること。
- (2) 都道府県労働局長は、安全衛生診断員又は対象事業場の代表者から報告された「安全衛生診断実施結果報告書（労働衛生診断関係）」（様式2-4）の写し及び「安全衛生診断改善報告書（労働衛生診断関係）」（様式3-3）の内容を検討し、その写しを対象事業場を管轄する労働基準監督署長あて通知すること。なお、当該通知を受けた労働基準監督署長は、必要に応じ対象事業場に対し指導等を実施すること。
- (3) コンサルタント会会長は、労働衛生診断の実施結果について、業務上疾病の発生要因、主要な問題点、労働衛生水準向上対策等を取りまとめるものとする。

9 安全衛生診断実施完了報告について

コンサルタント会会長は、安全衛生診断事業を平成18年度末までに完了させ、安全衛生診断実施完了報告書の提出により、厚生労働省労働基準局長に対して報告するものとする。

第2 対象事業場

1 選定基準について

対象事業場の選定基準は、次に示すとおりとすること。

1-1 安全診断の場合

- (1) 建設業以外の業種のうち、資本金が1億円以下の法人である事業者又は常時使用する労働者数が300人以下の事業者の事業場であって、次のいずれかに該当するもの。

ア 平成17年において休業1か月以上又は被災労働者の障害等級が14級以上の労働災害を発生させた事業場であって、安全管理上問題があるもの。

イ 過去に安全管理特別指導事業場に指定した事業場であって、追加

指導を行うことが必要であるもの。

ウ 安全管理指定事業場であって、安全衛生診断員による指導を行うことが必要であると認められるもの。

- (2) 建設業のうち資本金が1億円以下の法人である事業者又は常時使用する労働者数が300人以下の事業者の事業場（店社）であって、上記(1)のア～ウに該当するもの又はこれらに準ずるもの。
- (3) 資本金が1億円以下の法人である事業者又は常時使用する労働者数が300人以下の事業者の事業場であって、平成17年に休業4日以上外国人労働者に係る労働災害があった事業場であって、安全管理上問題があるもの。
- (4) 過去に労働災害防止特別安全診断事業において安全診断の対象とした事業場のうち、再度、安全管理の状況を確認することが適当であると認められるもの。
- (5) (1)～(4)のほか、都道府県労働局長が安全衛生診断員による指導を行うことが特に必要であると認めるもの。

1-2 リスクアセスメント診断の場合

- (1) 上記1-1の(1)、(2)、(4)のうち、事業場内における危険有害な設備、作業に係る安全衛生診断員によるリスクアセスメント診断の実施が適切であると考えられるもの。
- (2) 上記(1)のほか、リスクアセスメントの実施に意欲的であり、本事業の実施を通し、安全衛生水準の向上が見込まれる事業場として都道府県労働局長が安全衛生診断員による指導を行うことが特に必要であると認めるもの。

1-3 労働衛生診断の場合

資本金が1億円以下の法人である事業者又は常時使用する労働者数が300人以下の事業者の事業場であって、次のいずれかに該当するもの。

- (1) 平成17年において、じん肺の新規有所見者を発生させ、又は有機溶剤中毒等の業務上疾病を発生させた事業場であって、労働衛生管理上問題があるもの。
- (2) 過去に労働衛生管理特別指導事業場に指定した事業場であって、追加指導を行うことが必要であるもの。
- (3) 労働衛生管理指定事業場であって、安全衛生診断員による指導を行うことが必要であると認められるもの。
- (4) (1)～(3)のほか、特殊健康診断において有所見率が特に増加している事業場、作業環境測定結果の評価が第3管理区分である事業場、労働安全衛生法第28条第3項の化学物質を製造し又は取り扱う事

業場等、都道府県労働局長が安全衛生診断員による指導を行うことが特に必要であると認めるもの。

2 対象事業場の数等について

- (1) 対象事業場の数は、第1の3の(2)に示す数とする。
- (2) 対象事業場として決定した後に、当該事業場が操業停止等により安全衛生診断の実施が困難となった場合には、所轄の都道府県労働局安全衛生主務課において、予備の対象候補事業場の中から新たに対象事業場を選定すること。なお、この場合には、速やかに担当の安全衛生診断員に通知するとともに、厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課に報告すること。

第3 安全衛生診断員

1 安全衛生診断員の要件について

安全衛生診断員の要件は次のとおりとする。

- (1) 労働安全コンサルタント又は労働衛生コンサルタントのうち、コンサルタント会の会員である者。
ただし、コンサルタント会の会員の不足等の場合には、コンサルタント会に未加入の者であっても差し支えないこと。
- (2) (1)の要件の安全衛生診断員を確保できない場合には、中央労働災害防止協会又は業種別労働災害防止団体の都道府県駐在等の安全管理士又は衛生管理士とすること。
- (3) 安全衛生診断員の選任に当たっては、安全診断については労働安全コンサルタント又は安全管理士である者を、また、労働衛生診断については労働衛生コンサルタント又は衛生管理士である者をそれぞれ充てること。
- (4) 第2の1の1-1の(3)の事業場（外国人労働者の労働災害が発生した事業場）に対する安全診断に係る安全衛生診断員については、外国人労働者を使用している事業場（外国人研修生を受け入れている事業場を含む。）の安全診断・指導を実施した経験又は海外の事業場において管理者としてその国の労働者を管理監督した経験を有する者等を選任するよう配慮すること。
- (5) 第2の1の1-2の事業場に対するリスクアセスメント診断に係る安全衛生診断員については、原則として(1)又は(2)に掲げる者であって、かつ、コンサルタント会の労働安全衛生マネジメントシステム監査員として登録されている者又は事業場に対するリスクアセスメントに係る診断等の経験を有する者等リスクアセスメントに係る知識・経験を有する者とする。

2 安全衛生診断を実施する際の安全衛生診断員の基本的な態度について

- (1) 本安全衛生診断は、対象事業場における安全又は労働衛生に係る診断及びこれに基づく指導等を行うものであり、労働安全衛生法及び関係法令に対する違反を指摘することが目的ではないこと。
- (2) 安全衛生診断員は、安全衛生診断の実施によって知り得た秘密等を漏らし、又は盗用してはならないこと。

第4 安全衛生診断実施上の留意事項

1 選定基準区分別の安全衛生診断の実施について

1-1 安全診断の場合

- (1) 第2の1の1-1の(1)のア及び(2)のアの事業場に対する安全診断については、平成17年1月から安全診断の実施日までに発生した労働災害のうち、休業1か月以上又は被災労働者の障害等級が14級以上のもの（外国人労働者の労働災害を除く。）1件ごとに、対象事業場の責任者等との面談により、「労働災害要因分析表（安全診断関係）」（様式4）を用いて労働災害要因分析を行い、「労働災害要因分析結果表（安全診断関係）」（様式5）に取りまとめること。

また、改善指導を行うに当たっては、労働災害要因分析の結果及びその他の過去の労働災害の内容、事業場内の巡視等の結果を踏まえ、必要な改善事項について、「安全衛生診断実施結果報告書（一般の安全診断関係）」（様式2-1）の内容により指導すること。

- (2) 第2の1の1-1の(1)のイ及びウ並びに(2)のイ及びウの事業場に対する安全診断については、対象事業場の責任者等との面談及び事業場内の巡視等の結果を踏まえ、必要な改善事項について、「安全衛生診断実施結果報告書（一般の安全診断関係）」（様式2-1）の内容により指導すること。

なお、対象事業場において、休業1か月以上又は被災労働者の障害等級が14級以上の労働災害（外国人労働者の労働災害を除く。）が発生していた場合には、(1)により実施すること。

- (3) 第2の1の1-1の(3)の事業場に対する安全診断については、平成17年1月から安全診断の実施日までに発生した外国人労働者の労働災害のうち、休業4日以上のもので1件ごとに、対象事業場の責任者等との面談により、「労働災害要因分析表（安全診断関係）」（様式4）を用いて労働災害要因分析を行い、「労働災害要因分析結果表（安全診断関係）」（様式5）に取りまとめること。

また、改善指導を行うに当たっては、労働災害要因分析の結果及びその他の過去の労働災害の内容、事業場内の巡視等の結果を踏まえ、「外国人労働者の労働災害に関する安全診断チェックポイント」（様式2-2別表）に留意の上、「安全衛生診断実施結果報告書（外国人労働者の労働災害に係る安全診断関係）」（様式2-2）の内容により指導すること。

なお、対象事業場の選定の基となった労働災害において、外国人労働者

以外の労働者について、休業1か月以上又は被災労働者の障害等級が14級以上の労働災害が発生していた場合には、(1)による安全診断を併せて実施し、その結果を「安全衛生診断実施結果報告書（外国人労働者の労働災害に係る安全診断関係）」（様式2-2）に併せて記載すること。

- (4) 第2の1の1-1の(4)の事業場に対する安全衛生診断については、対象事業場の責任者等との面談及び事業場内の巡視等の結果を踏まえ、必要な改善事項について、「安全衛生診断実施結果報告書（一般の安全診断関係）」（様式2-1）の内容により指導するとともに、過去に実施した安全診断により改善指導等を行った事項を中心に、その後の安全管理の水準、向上等の状況について分析評価し、「安全衛生診断分析評価結果報告書（安全診断関係）」（様式6）に取りまとめること。

なお、過去に実施した安全診断の後に、休業1か月以上又は被災労働者の障害等級が14級以上の労働災害（外国人労働者の労働災害を除く。）を発生させていた場合には、(1)による安全診断を併せて実施すること。

- (5) 第2の1の1-1の(5)の事業場に対する安全診断については、対象事業場の責任者等との面談及び事業場内の巡視等の結果を踏まえ、必要な事項について、「安全衛生診断実施結果報告書（一般の安全診断関係）」（様式2-1）の内容により指導すること。
- (6) 建設業に対する安全診断については、対象とする店社、現場において出稼労働者が使用されている場合は、出稼労働者への安全管理を考慮した内容とすることとし、「安全衛生診断実施結果報告書（一般の安全診断関係）」（様式2-1）の総合所見の欄に出稼労働者の安全管理状況の概要を記載すること。

1-2 リスクアセスメント診断の場合

- (1) 第2の1の1-2の事業場に対するリスクアセスメント診断については、労働安全衛生法第28条の2第2項に基づく指針（以下「リスクアセスメント指針」という。）に示されている事項について、診断を通し、理解を深め、事業場における取組を促進するものであるが、事業場全体についてリスクアセスメントを行うものではなく、労働災害発生状況等を踏まえ、事業者と協議の上、実施対象範囲を決定すること。
- (2) リスクアセスメント診断については、2日間で実施するものとするが、原則、1日目で対象範囲におけるリスクアセスメントの実施を終えるものとする。なお、この際、診断実施前に事業場と連絡を取り、リスクアセスメントを実施する上で必要な情報（機械等の取扱い説明書、作業手順書、過去の災害・ヒヤリハット事例、安全パトロール結果等）をあらかじめ用意させるなど、円滑な実施に留意すること。
- (3) リスクアセスメント診断の実施にあたっては、別途、コンサルタント会において作成中のリスクアセスメント実施のためのマニュアルを配布する予定であるため、これを活用すること。

- (4) 2日目の診断を実施する前に、様式2-3の別表のリスク評価表にリスクアセスメントの結果を記入するとともに、可能な限りリスク低減措置（提案）を記入すること。
- (5) 2日目の診断は、リスク評価表（様式2-3別表）に従い、実施したリスクアセスメントの結果を説明するとともに、具体的なリスク低減措置の提案、具体的な措置に関する事業場からの相談への対応を行うこと。
- (6) 改善指導にあたっては、実施したリスクアセスメント結果を踏まえ、必要な改善事項について「安全衛生診断実施結果報告書（リスクアセスメント診断関係）」（様式2-3）の内容により指導することとするが、単に改善指導にとどまらず、以下の点を十分に説明すること。
 - ① リスクアセスメント指針に示されているリスクアセスメントを実施する上での基本的な考え方
 - ② 診断員が対象範囲についてどのような考え方に基づいてリスクアセスメントを実施したか
 - ③ 対象とした範囲についての作業の洗い出し及び危険性又は有害性の特定についての考え方
 - ④ 負傷又は疾病の重篤度、発生可能性の度合を踏まえた、リスク見積もりの考え方
 - ⑤ リスクの評価結果に応じ、優先順位を付ける上での考え方
 - ⑥ リスク低減措置の検討に当たっての考え方
 - ⑦ リスクアセスメント結果の記録について
 - ⑧ 本診断によるリスクアセスメント結果についての事業場内での取扱いについて
 - ⑨ 事業場内でリスクアセスメントを実施する上での留意事項
- (7) (1)、(2)により実施したリスクアセスメントの結果について、「安全衛生診断実施結果報告書（リスクアセスメント診断関係）」（様式2-3）に取りまとめること。

1-3 労働衛生診断の場合

- (1) 第2の1の1-3の(1)の事業場に対する労働衛生診断については、平成17年1月から労働衛生診断の実施日までに発生した業務上疾病（外国人労働者の業務上疾病を除く。）1件ごとに、対象事業場の責任者等との面談により、業務上疾病の発生要因について作業管理、作業環境管理、健康管理等の面から分析を行い、「安全衛生診断実施結果報告書（労働衛生診断関係）」（様式2-4）に取りまとめること。

また、改善指導を行うにあたっては、業務上疾病の発生要因及びその他の過去の業務上疾病の内容、事業場内の巡視等の結果を踏まえ、必要な改善事項について、「安全衛生診断実施結果報告書（労働衛生診断関係）」（様式2-4）の内容により指導すること。

- (2) 第2の1の1-3の(2)及び(3)の事業場に対する労働衛生診断につい

ては、対象事業場の責任者等との面談及び事業場内の巡視等の結果を踏まえ、必要な改善事項について、「安全衛生診断実施結果報告書（労働衛生診断関係）」（様式2-4）の内容により指導すること。

なお、対象事業場において、業務上疾病（外国人労働者の業務上疾病を除く。）が発生していた場合には、(1)により実施すること。

- (3) 第2の1の1-3の(4)の事業場に対する労働衛生診断については、対象事業場の責任者等との面談及び事業場内の巡視等の結果を踏まえ、必要な改善事項について、「安全衛生診断実施結果報告書（労働衛生診断関係）」（様式2-4）の内容により指導すること。

2 対象事業場の範囲等について

- (1) 建設業以外の業種の事業場に対する安全衛生診断の実施に当たって、所在地の異なる工場等を巡視した場合には、当該工場等を独立した対象事業場とはみなさず、安全衛生診断を実施した対象事業場の一部として取り扱うこと。
- (2) 建設業の事業場に対する安全衛生診断の実施に当たっては、店社及び店社の1以上の建設工事現場について安全衛生診断を実施すること。

なお、この場合、建設工事現場は独立した対象事業場とはみなさず、店社と合わせた一つの対象事業場とみなすこと。

第5 安全衛生診断の費用等

- 1 対象事業場の負担する安全衛生診断に係る費用は無料とする。
- 2 安全衛生診断員に対する安全衛生診断に係る謝金等は、別に定めるものとする。

第6 様式

- 様式1-1 安全衛生診断実施確認書（安全診断関係）
（同記載要領）
- 様式1-2 安全衛生診断実施確認書（リスクアセスメント診断関係）
（同記載要領）
- 様式1-3 安全衛生診断実施確認書（労働衛生診断関係）
（同記載要領）
- 様式2-1 安全衛生診断実施結果報告書（一般の安全診断関係）
（同記載要領）
- 様式2-2 安全衛生診断実施結果報告書（外国人労働者の労働災害に係る安全診断関係）
（同記載要領及び別表（外国人労働者の労働災害に関する安全診断チェックポイント））
- 様式2-3 安全衛生診断実施結果報告書（リスクアセスメント診断関係）
（同記載要領）
- 様式2-4 安全衛生診断実施結果報告書（労働衛生診断関係）
（同記載要領）
- 様式3-1 安全衛生診断改善報告書（安全診断関係）
- 様式3-2 安全衛生診断改善報告書（リスクアセスメント診断関係）
- 様式3-3 安全衛生診断改善報告書（労働衛生診断関係）
- 様式4 労働災害要因分析表（安全診断関係）
表-1 被災者の状況等分析（全産業）
表-2 災害の型別要因分析（全産業）
表-3 災害の起因物要因分析（全産業）
表-4 不安全な行動要因分析（全産業）
表-5 外国人労働者の労働災害の要因分析（全産業）
- 様式5 労働災害要因分析結果表（安全診断関係）
- 様式6 安全衛生診断分析評価結果報告書（安全診断関係）

<様式1-1>

安全衛生診断実施確認書
(安全診断関係)

平成 年 月 日

社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会 会長 殿

受診事業場

所在地

事業場名

電話番号 ()

代表者氏名 印

下記のとおり、安全診断を受診いたしました。

安全衛生診断員	1. 労働安全コンサルタント 2. 安全管理士 ()	氏名	印
労働者数	名	業種	
診断実施日	平成 年 月 日		
立会者	(職名) (氏名)		

様式 1 - 1 記載要領

安全衛生診断実施確認書（安全診断関係） 記載要領

1. 受診事業場代表者は、診断事業場の代表取締役社長、工場長、所長等当該事業場の責任者をいう。
2. 確認書年月日は、通常は診断実施日となるが、診断実施日に事業場代表者が不在等で押印できない場合、後日押印した日とする。この場合、安全衛生診断員は当該確認書を対象事業場から郵送等により受領すること。
3. 診断を実施した安全衛生診断員は、労働安全コンサルタント又は安全管理士のいずれかに○を付すとともに、署名、押印すること。
なお、安全管理士である場合、（ ）内に労働災害防止団体名の略号（中災防、建災防等）を記入すること。
4. 業種については、中分類の業種名（例：金属製品製造業、設備工事業等）を記入すること。
5. 立会者については、立ち会った責任者等のうち、代表となる者をいう。
なお、前記 3 以下の欄中の事項についても、立会者の了解のもと安全衛生診断員が記載することが望ましいこと。

<様式1-2>

安全衛生診断実施確認書
(リスクアセスメント診断関係)

平成 年 月 日

社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会 会長 殿

受診事業場

所在地

事業場名

電話番号 ()

代表者氏名 印

下記のとおり、リスクアセスメント診断を受診いたしました。

安全衛生診断員	1. 労働安全コンサルタント 2. 労働衛生コンサルタント	氏名	印
労働者数	名	業種	
診断実施日	平成 年 月 日 及び 平成 年 月 日		
立会者	(職名) (氏名)		

様式 1 - 2 記載要領

安全衛生診断実施確認書（リスクアセスメント診断関係） 記載要領

1. 受診事業場代表者は、診断事業場の代表取締役社長、工場長、所長等当該事業場の責任者をいう。
2. 確認書年月日は、通常は診断実施日となるが、診断実施日に事業場代表者が不在等で押印できない場合、後日押印した日とする。この場合、安全衛生診断員は当該確認書を対象事業場から郵送等により受領すること。
3. 診断を実施した安全衛生診断員は、労働安全コンサルタント又は労働衛生コンサルタントのいずれかに○を付すとともに、署名、押印すること。
4. 業種については、中分類の業種名（例：金属製品製造業、設備工事業等）を記入すること。
5. 立会者については、立ち会った責任者等のうち、代表となる者をいう。
なお、前記 3 以下の欄中の事項についても、立会者の了解のもと安全衛生診断員が記載することが望ましいこと。

<様式1-3>

安全衛生診断実施確認書
(労働衛生診断関係)

平成 年 月 日

社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会 会長 殿

受診事業場

所在地

事業場名

電話番号 ()

代表者氏名 印

下記のとおり、労働衛生診断を受診いたしました。

安全衛生診断員	1. 労働衛生コンサルタント 2. 衛生管理士 ()	氏名	印
労働者数	名	業種	
診断実施日	平成 年 月 日		
立会者	(職名) (氏名)		

様式 1 - 3 記載要領

安全衛生診断実施確認書（労働衛生診断関係） 記載要領

1. 受診事業場代表者は、診断事業場の代表取締役社長、工場長、所長等当該事業場の責任者をいう。
2. 確認書年月日は、通常は診断実施日となるが、診断実施日に事業場代表者が不在等で押印できない場合、後日押印した日とする。この場合、安全衛生診断員は当該確認書を対象事業場から郵送等により受領すること。
3. 診断を実施した安全衛生診断員は、労働衛生コンサルタント又は衛生管理士のいずれかに○を付すとともに、署名、押印すること。
なお、衛生管理士である場合、（ ）内に労働災害防止団体名の略号（中災防等）を記入すること。
4. 業種については、中分類の業種名（例：金属製品製造業、設備工事業等）を記入すること。
5. 立会者については、立ち会った責任者等のうち、代表となる者をいう。
なお、前記 3 以下の欄中の事項についても、立会者の了解のもと安全衛生診断員が記載することが望ましいこと。

<様式2-1> 安全衛生診断実施結果報告書
(一般の安全診断関係)

(1)

事業場の名称
代表者

殿
安全衛生診断員 兼 安全コンサルタント
安全管理士
診 断 日 平成 年 月 日

印
印

事業場の名称			
所在地	TEL ()		
代表者名			
事業の概要	(資本金)	労働者数	
	(業種(中分類))	男 名 (名)	
	(主要製品等)	女 名 (名)	
		計 名 (名)	

労働災害 発生状況		①死亡	②休業1か月 以上又は 障害等級14 級以上	③休業 4日 以上	④休業 4日 未満	計
		人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	
	平成16年	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()
	平成17年	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()
	本年 (1月~ 月)	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()

労働災害 発生概要	1.
労働災害 発生概要	2.

診 断 項 目	現 状 及 び 指 導 事 項
①安全管理体制の 確立と安全管理 者等の職務の遂 行について	
②安全点検体制の 確立と安全点検 の実施について	
③機械設備の安全 化について	
④作業手順の確立 と作業方法の改 善について	

⑤安全衛生教育の実施について	
⑥安全活動（上記のものを除く）について	
⑦労働安全衛生マネジメントシステムについて	1 運用中 2 構築中 3 準備段階 4 導入予定なし
⑧リスクアセスメントについて	1 実施中 2 準備段階 3 実施予定なし
⑨下請労働者、派遣労働者等に対する安全管理について（該当がない場合は記入不要）	
⑩上記以外の特記事項について （例：危険物等による爆発・火災災害の防止のため、特に講じている措置など）	

⑪ 総合所見について	
------------	--

※ 改善はできるだけ速やかにお願いします。

また、改善結果を別添様式 3-1 「安全衛生診断改善報告書（安全診断関係）」に記入し、診断実施後 1 ヶ月以内、遅くとも平成 19 年 3 月末日までに所轄労働局長あて提出するとともに、その写しを安全衛生診断員あて送付して下さい。

様式 2 - 1 記載要領

安全衛生診断実施結果報告書 記載要領
(一般の安全診断関係)

1. 「安全衛生診断員」欄には、労働安全コンサルタント又は安全管理士のいずれかに○を付すとともに、署名、押印すること。
2. 「(主要製品等)」については、「自動車ラジエーター」(例)のように記入すること。
3. 「労働者数」欄の()内には、外国人労働者を内数で記入すること。
4. 「労働災害発生状況」欄には、②は①を除く数を、③は①及び②を除く数を記入すること。また、()内には、外国人の被災者数を内数で記入すること。
5. 「労働災害発生概要」については、労働災害発生状況の①及び②のうち、平成17年及び本年に入って診断日までに発生した災害ごとに記入すること。
なお、記入に当たっては、「平成17年7月、旋盤でフランジ部品の試し切削中、部品がチャックより外れ、旋盤作業員(男)の顔に飛来し休業50日の負傷をした。直接原因としては、チャックの締付けの確認が行われていなかったこと、間接原因としては、作業手順書の不備と安全教育の不十分である。」(例)のように起因物、事故の型、原因(直接原因・間接原因)等を簡明に記入すること。
6. 「診断項目①」については、安全委員会の設置義務のない事業場の場合にあっては、安全に関する事項について、関係労働者の意見を聴くための機会を設けているかどうか(安衛則23条の2)を確認し、どのような形式(委員会、全体会合、個別聴取等)によるかを確認すること。また、設けていない場合は、その理由を聞くとともに、関係労働者の意見を聴くための機会を設けるよう指導すること。
7. 「診断項目⑤」については、法定の教育はもとより、法定外の安全衛生教育についてもその実施について留意すること。
8. 「診断項目⑦」については、該当する番号に○を付すこと。なお、該当するものがない場合は、空欄に自由記入すること。
なお、「運用中」とは、安全衛生方針の表明、安全衛生目標の設定、安全衛生計画の作成後、PDCAサイクルが回り始めた段階以降のことをいい、「構築中」とは、シス

テム導入の正式決定からPDCAサイクルが回るまでの状態をいう。また、「準備段階」とは、システム導入の意欲はあるものの、導入を事業場として正式に決定していない段階をいう。

9. 「診断項目⑧」については、該当する番号に○を付すこと。なお、該当するものがない場合は、空欄に自由記入すること。

なお、「実施中」とは、危険有害要因の特定等具体的にリスクアセスメントの実施を開始している段階をいい、「準備段階」とは、リスクアセスメント実施の意欲はあるものの、実施を事業譲渡して正式に決定していない段階をいう。

また、「実施中」の場合には、リスクアセスメント実施の際の労働者の参加の状況を確認するとともに、参加させていない場合は、参加の必要性を説明し、指導すること。

10. 「診断項目⑨」については、同一事業場内において下請労働者や派遣労働者等が混在する場合等において実施されている安全管理上の措置等について記載すること。

11. 本様式の項目について、記載すべき事項がない場合はその箇所を削除し、また、記載しきれない場合は行数を増やして（ワープロ等使用）記入する等適宜変更しても差し支えないこと。

<様式2-2> 安全衛生診断実施結果報告書 《外》 (1)
 (外国人労働者の労働災害に係る安全診断関係)

事業場の名称
 代表者

殿
 安全衛生診断員 労働安全コンサルタント
 安全管理士
 平成 年 月 日
 印
 印

事業場の名称			
所在地	TEL ()		
代表者名			
事業の概要 (資本金) (業種(中分類)) (主要製品等)	労働者数		
	男	名 ()	名 ()
	女	名 ()	名 ()
	計	名 ()	名 ()

労働災害 発生状況		①死亡	②休業1か月 以上又は 障害等級14 級以上	③休業 4日 以上	④休業 4日 未満	計
	平成16年	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()
	平成17年	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()
	本年 (1月~ 月)	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()	人 ()

労働災害 発生概要	1.
労働災害 発生概要	2.

診 断 項 目	現 状 及 び 指 導 事 項
①安全管理体制の 確立と安全管理 者等の職務の遂 行について	
②安全点検体制の 確立と安全点検 の実施について	
③機械設備の安全 化について	
④作業手順の確立 と作業方法の改 善について	

⑤安全衛生教育の実施について	
⑥安全活動（上記のものを除く）について	
⑦外国人労働者に対する上記以外の特記事項について	
⑧労働安全衛生マネジメントシステムについて	1 運用中 2 構築中 3 準備段階 4 導入予定なし
⑨リスクアセスメントについて	1 実施中 2 準備段階 3 実施予定なし
⑩下請労働者、派遣労働者等に対する安全管理について（該当がない場合は記入不要）	

⑪ 上記以外の特記事項について (例：危険物等による爆発・火災災害の防止のため、特に講じている措置など)	
⑫ 総合所見について	

※ 改善はできるだけ速やかをお願いします。

また、改善結果を別添様式 3-1 「安全衛生診断改善報告書（安全診断関係）」に記入し、診断実施後 1 ヶ月以内、遅くとも平成 19 年 3 月末日までに所轄労働局長あて提出するとともに、その写しを安全衛生診断員あて送付して下さい。

安全衛生診断実施結果報告書 記載要領
(外国人労働者の労働災害に係る安全診断関係)

1. 診断に当たっては、様式 2-2 別表「外国人労働者の労働災害に関する安全診断チェックポイント」に留意すること。
2. 「安全衛生診断員」欄には、労働安全コンサルタント又は安全管理士のいずれかに○を付すとともに、署名、押印すること。
3. 「(主要製品等)」については、「自動車ラジエーター」(例)のように記入すること。
4. 「労働者数」欄の()内には、外国人労働者を内数で記入すること。
5. 「労働災害発生状況」欄には、②は①を除く数を、③は①及び②を除く数を記入すること。また、()内には、外国人の被災者数を内数で記入すること。
6. 「労働災害発生概要」については、労働災害発生状況の①、②及び③のうち、平成 17 年及び本年に入って診断日までに発生した災害(③については、外国人労働者に係る災害に限る。)ごとに記入すること。
なお、記入に当たっては、「平成 17 年 7 月、旋盤でフランジ部品の試し切削中、部品がチャックより外れ、旋盤作業員(男)の顔に飛来し休業 50 日の負傷をした。直接原因としては、チャックの締付けの確認が行われていなかったこと、間接原因としては、作業手順書の不備と安全教育の不十分である。」(例)のように起因物、事故の型、原因(直接原因・間接原因)等を簡明に記入すること。
7. 「診断項目①」については、安全委員会を設置する義務のない事業場の場合にあっては、安全に関する事項について、関係労働者の意見を聴くための機会を設けているかどうか(安衛則 23 条の 2)を確認し、どのような形式(委員会、全体会合、個別聴取等)によるかを確認すること。また、設けていない場合は、その理由を聞くとともに、関係労働者の意見を聴くための機会を設けるよう指導すること。
8. 「診断項目⑤」については、法定の教育はもとより、法定外の安全衛生教育についてもその実施について留意すること。
9. 「診断項目⑧」については、該当する番号に○を付すこと。なお、該当するものがない場合は、空欄に自由記入すること。
なお、「運用中」とは、安全衛生方針の表明、安全衛生目標の設定、安全衛生計画の

作成後、P D C Aサイクルが回り始めた段階以降のことをいい、「構築中」とは、システム導入の正式決定からP D C Aサイクルが回るまでの状態をいう。また、「準備段階」とは、システム導入の意欲はあるものの、導入を事業場として正式に決定していない段階をいう。

10. 「診断項目⑨」については、該当する番号に○を付すこと。なお、該当するものがない場合は、空欄に自由記入すること。

なお、「実施中」とは、危険有害要因の特定等具体的にリスクアセスメントの実施を開始している段階をいい、「準備段階」とは、リスクアセスメント実施の意欲はあるものの、実施を事業譲渡して正式に決定していない段階をいう。

また、「実施中」の場合には、リスクアセスメント実施の際の労働者の参加の状況を確認するとともに、参加させていない場合は、参加の必要性を説明し、指導すること。

11. 「診断項目⑩」については、同一事業場内において下請労働者や派遣労働者等が混在する場合等において実施されている安全管理上の措置等について記載すること。

12. 本様式の項目について、記載すべき事項がない場合はその箇所を削除し、また、記載しきれない場合は行数を増やして（ワープロ等使用）記入する等適宜変更しても差し支えないこと。

外国人労働者の労働災害に関する安全診断チェックポイント

1 総括的事項	(1) 外国人労働者の労働災害発生状況 (2) 外国人労働者の安全衛生管理の阻害要因
2 事業者の基本姿勢	(1) 外国人労働者に係る安全衛生管理において、特に配慮、措置すべき部分があることについての認識の程度 (2) 外国人労働者についての配慮、措置事項に関する管理、監督者に対しての指示の状況
3 安全衛生管理体制	(1) 外国人労働者に係る安全衛生管理における総括安全衛生管理者、安全管理者、衛生管理者等の活動状況 (2) 作業主任者、作業指揮者の、外国人労働者についての配慮、措置事項に関する対応状況 (3) 産業医の外国人労働者についての配慮、措置事項に関する対応状況 (4) 安全衛生委員会の活動状況
4 安全衛生教育	(1) 日本人管理監督者等教育 外国人労働者の管理、監督を行う者又は外国人労働者と共同作業を行う労働者に対する外国人労働者についての配慮、措置事項を踏まえた安全衛生教育の実施状況 (2) 外国人労働者教育 ① 外国人労働者についての配慮、措置事項を踏まえた外国人労働者に対する雇入れ時の教育等の実施状況 ② 職場への適応、安全な作業を行う能力の向上のために実施している事項
5 就業に当たっての措置	(1) 外国人労働者を就業制限業務、特別教育を必要とする危険有害業務等に就業させるに当たって講じている措置の状況 (2) 機械設備、安全装置、保護具等の使用方法、合図、応急措置等に関する事項について指示する場合に考慮している事項 (3) 外国人労働者のみから成る作業班がある場合、考慮している事項
6 掲示、表示及び標識	外国人労働者についての配慮、措置事項を踏まえた安全衛生確保のために必要な掲示、表示又は標識の作成状況
7 健康管理	(1) 外国人労働者に対する健康診断及びその事後措置の実施状況及び考慮している事項 (2) 外国人労働者に対する風土病、寄生虫症等の検査の実施状況 (3) 外国人労働者に対する健康保持増進対策の実施状況
8 その他	(1) 外国人労働者の安全衛生管理に関して必要な情報の収集、分析の手法 (2) 食生活、住居等職場以外の事項に関しての外国人労働者からの相談への対応状況

<様式2-3> 安全衛生診断実施結果報告書
 (リスクアセスメント診断関係)

(1)

事業場の名称
 代表者

殿

安全衛生診断員 労働安全コンサルタント

労働衛生コンサルタント

印
 印

診断日 (1日目) 平成 年 月 日

(2日目) 平成 年 月 日

事業場の名称			
所在地	TEL ()		
代表者名			
事業の概要	(資本金)	労働者数	
	(業種(中分類))	男	名 (名)
	(主要製品等)	女	名 (名)
		計	名 (名)

労働災害 発生状況		①死亡	②休業1か月 以上又は 障害等級14 級以上	③休業 4日 以上	④休業 4日 未満	計
	平成16年	人	人	人	人	人
	平成17年	人	人	人	人	人
	本年 (1月~ 月)	人	人	人	人	人

労働災害 発生概要	1.
労働災害 発生概要	2.

診断項目	現 状 及 び 指 導 事 項
①労働安全衛生マネジメントシステムについて	1 運用中 2 構築中 3 準備段階 4 導入予定なし
②リスクアセスメントについて	1 実施中 2 準備段階 3 実施予定なし
③作業の洗い出し及び危険性又は有害性の特定についての考え方	
④リスク見積もり及び優先順位を付ける上での考え方	
⑤リスク低減措置の提案及びその考え方について	
⑥残留リスク対策についての考え方について	
⑦総合所見（その他リスクアセスメント実施上の留意点について）	

※ 改善はできるだけ速やかをお願いします。

また、改善結果を別添様式3-2「安全衛生診断改善報告書（リスクアセスメント診断関係）」に記入し、診断実施後1ヶ月以内、遅くとも平成19年3月末日までに所轄労働局長あて提出するとともに、その写しを安全衛生診断員あて送付して下さい。

危険性又は有害性の分類例

1 危険性

- (1) 機械等による危険性
- (2) 爆発性の物、発火性の物、引火性の物、腐食性の物等による危険性
「引火性の物」には、可燃性のガス、粉じん等が含まれ、「等」には、酸化性の物、硫酸等が含まれること。
- (3) 電気、熱その他のエネルギーによる危険性
「その他のエネルギー」には、アーク等の光のエネルギー等が含まれること。
- (4) 作業方法から生ずる危険性
「作業」には、掘削の業務における作業、採石の業務における作業、荷役の業務における作業、伐木の業務における作業、鉄骨の組立ての作業等が含まれること。
- (5) 作業場所に係る危険性
「場所」には、墜落するおそれのある場所、土砂等が崩壊するおそれのある場所、足を滑らすおそれのある場所、つまづくおそれのある場所、採光や照明の影響による危険性のある場所、物体の落下するおそれのある場所等が含まれること。
- (6) 作業行動等から生ずる危険性
- (7) その他の危険性
「その他の危険性」には、他人の暴力、もらい事故による交通事故等の労働者以外の者の影響による危険性が含まれること。

2 有害性

- (1) 原材料、ガス、蒸気、粉じん等による有害性
「等」には、酸素欠乏空気、病原体、排気、排液、残さい物が含まれること。
- (2) 放射線、高温、低温、超音波、騒音、振動、異常気圧等による有害性
「等」には、赤外線、紫外線、レーザー光等の有害光線が含まれること。
- (3) 作業行動等から生ずる有害性
「作業行動等」には、計器監視、精密工作、重量物取扱い等の重筋作業、作業姿勢、作業態様によって発生する腰痛、頸肩腕症候群等が含まれること。
- (4) その他の有害性

リスク見積り及びそれに基づく優先度の設定方法の例

1 負傷又は疾病の重篤度

「負傷又は疾病の重篤度」については、基本的に休業日数等を尺度として使用するものであり、以下のように区分する例がある。

- ①致命的：死亡災害や身体の一部に永久損傷を伴うもの
- ②重大：休業災害（1か月以上のもの）、一度に多数の被災者を伴うもの
- ③中程度：休業災害（1か月未満のもの）、一度に複数の被災者を伴うもの
- ④軽度：不休災害やかすり傷程度のもの

2 負傷又は疾病の可能性の度合

「負傷又は疾病の可能性の度合」は、危険性又は有害性への接近の頻度や時間、回避の可能性等を考慮して見積もるものであり（具体的には記の9(3)参照）、以下のように区分する例がある。

- ①可能性が極めて高い：日常的に長時間行われる作業に伴うもので回避困難なもの
- ②可能性が比較的高い：日常的に行われる作業に伴うもので回避可能なもの
- ③可能性がある：非定常的な作業に伴うもので回避可能なもの
- ④可能性がほとんどない：まれにしか行われない作業に伴うもので回避可能なもの

3 リスク見積りの例

リスク見積り方法の例には、以下の例1～3のようなものがある。

例1:マトリクスを用いた方法

重篤度「②重大」、可能性の度合「②比較的高い」の場合の見積り例

		負傷又は疾病の重篤度			
		致命的	重大	中程度	軽度
負傷又は疾病の発生可能性の度合	極めて高い	5	5	4	3
	比較的高い	5	4	3	2
	可能性あり	4	3	2	1
	ほとんどない	4	3	1	1

リスク	優先度	
4~5	高	直ちにリスク低減措置を講ずる必要がある。 措置を講ずるまで作業停止する必要がある。 十分な経営資源を投入する必要がある。
2~3	中	速やかにリスク低減措置を講ずる必要がある。 措置を講ずるまで使用しないことが望ましい。 優先的に経営資源を投入する必要がある。
1	低	必要に応じてリスク低減措置を実施する。

例2: 数値化による方法

重篤度「②重大」、可能性の度合「②比較的高い」の場合の見積り例

(1) 負傷又は疾病の重篤度

致命的	② 重大	中程度	軽度
30点	20点	7点	2点

(2) 負傷又は疾病の発生可能性の度合

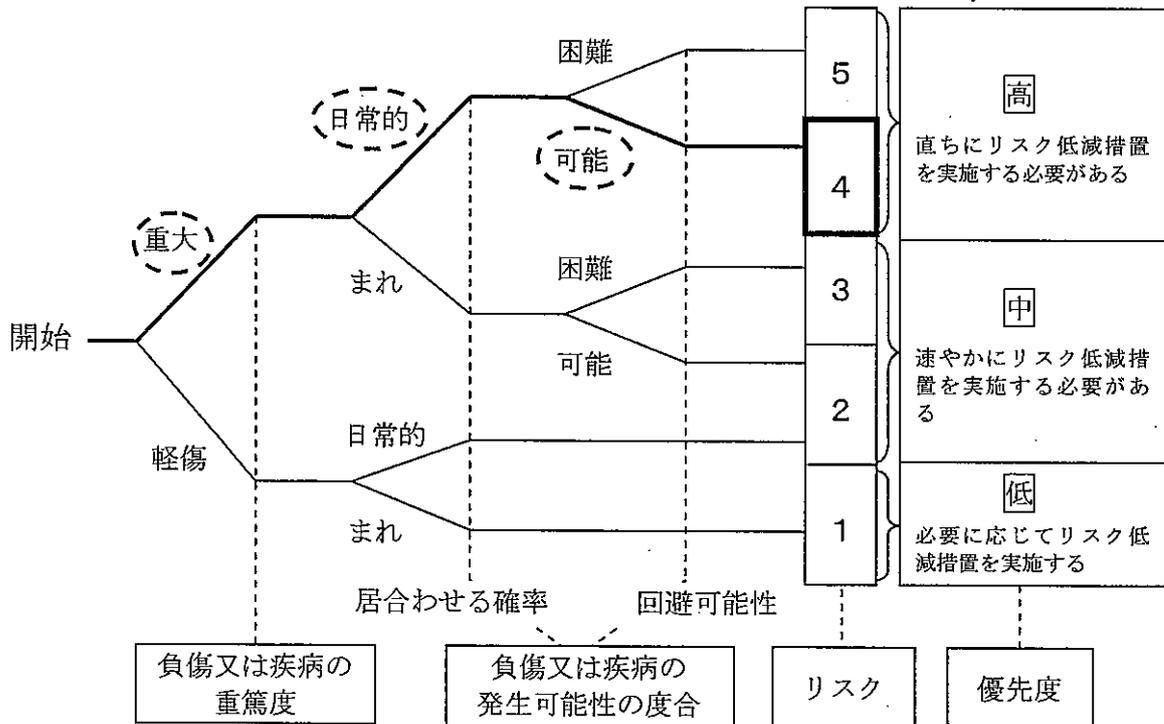
極めて高い	② 比較的高い	可能性あり	ほとんどない
20点	15点	7点	2点

20点(重篤度「重大」)+15点(可能性の度合「比較的高い」)=35点(リスク)

リスク	優先度	
③ 30点以上	高	直ちにリスク低減措置を講ずる必要がある。 措置を講ずるまで作業停止する必要がある。 十分な経営資源を投入する必要がある。
10~29点	中	速やかにリスク低減措置を講ずる必要がある。 措置を講ずるまで使用しないことが望ましい。 優先的に経営資源を投入する必要がある。
10点未満	低	必要に応じてリスク低減措置を実施する。

例3: 枝分かれ図を用いた方法

重篤度「②重大」、可能性の度合「②比較的高い」の場合の見積り例



様式 2-3 記載要領

安全衛生診断実施結果報告書 記載要領 (リスクアセスメント診断関係)

1. 「安全衛生診断員」欄には、労働安全コンサルタント又は労働衛生コンサルタントのいずれかに○を付すとともに、署名、押印すること。
2. 「(主要製品等)」については、「自動車ラジエーター」(例)のように記入すること。
3. 「労働災害発生状況」欄には、②は①を除く数を、③は①及び②を除く数を記入すること。
4. 「労働災害発生概要」については、労働災害発生状況の①及び②のうち、平成17年及び本年に入って診断日までに発生した災害ごとに記入すること。
なお、記入に当たっては、「平成17年7月、旋盤でフランジ部品の試し切削中、部品がチャックより外れ、旋盤作業員(男)の顔に飛来し休業50日の負傷をした。直接原因としては、チャックの締付けの確認が行われていなかったこと、間接原因としては、作業手順書の不備と安全教育の不十分である。」(例)のように起因物、事故の型、原因(直接原因・間接原因)等を簡明に記入すること。
5. 「診断項目①」については、該当する番号に○を付すこと。なお、該当するものがない場合は、空欄に自由記入すること。
なお、「運用中」とは、安全衛生方針の表明、安全衛生目標の設定、安全衛生計画の作成後、PDCAサイクルが回り始めた段階以降のことをいい、「構築中」とは、システム導入の正式決定からPDCAサイクルが回るまでの状態をいう。また、「準備段階」とは、システム導入の意欲はあるものの、導入を事業場として正式に決定していない段階をいう。
6. 「診断項目②」については、該当する番号に○を付すこと。なお、該当するものがない場合は、空欄に自由記入すること。
なお、「実施中」とは、危険有害要因の特定等具体的にリスクアセスメントの実施を開始している段階をいい、「準備段階」とは、リスクアセスメント実施の意欲はあるものの、実施を事業場として正式に決定していない段階をいう。
7. 「診断項目③から⑥」については、1日目に実施したリスクアセスメントの内容及びその結果を踏まえて提案するリスク低減措置について、事業場における具体的な措置の実施を事業場担当者からの相談等を通して検討した結果を踏まえた記載内容とすること。

8. 「診断項目⑦」については、診断対象事業場において今後リスクアセスメントを実施する上での留意事項等を記載すること（リスクアセスメント実施の際の労働者の参加の必要性等）。なお、診断対象事業場が既にリスクアセスメントを実施している場合にあっては、今後改善すべき点を記載すること。
9. リスクアセスメントの実施結果は、別表「リスク評価表」に記載すること。
10. 本様式の項目について、記載すべき事項がない場合はその箇所を削除し、また、記載しきれない場合は行数を増やして（ワープロ等使用）記入する等適宜変更しても差し支えないこと。

安全衛生診断実施結果報告書
(労 働 衛 生 診 断 関 係)

事業場の名称
代表者

殿
安全衛生診断員 労働衛生コンサルタント
衛生管理士

印
印

診 断 日 平成 年 月 日

事業場の名称			
所在地	TEL ()		
代表者名			
事業の概要	(資本金)	労 働 者 数	
	(業種 (中分類))	男	名 (名)
	(主要製品等)	女	名 (名)
		計	名 (名)

業務上疾病 発生状況		①死亡	②休業1か月 以上又は 障害等級14 級以上	③休業 4日 以上	④休業 4日 未満	計
	平成16年	人	人	人	人	人
	平成17年	人	人	人	人	人
	本年 (1月~ 月)	人	人	人	人	人

業務上疾病 発生概要	1.
業務上疾病 発生概要	2.

特殊健康診断実施状況（最新のを記す）

(2)

特殊健康診断の種類	従事者数	受診者数	受診率	有所見者数	健診結果に基づき実施した措置	備考

作業環境測定状況（最新のを記す）

作業場及び作業の概要	実施日及び管理区分		測定者（精度管理番号）
	1回目	2回目	
			自社・委託

診 断 項 目	現 状 及 び 指 導 事 項
①労働衛生管理体制の確立と産業医、衛生管理者等の職務の遂行について	
②作業環境管理の実施について	
③作業管理の実施について 〔作業手順の確立と作業方法の改善等について〕	
④健康管理の実施について (過重労働による健康障害防止対策、メンタルヘルス対策、THPを含む。)	

⑤労働衛生教育の実施について	
⑥快適な職場づくりについて	
⑦化学物質管理について 〔MSDSの入手、周知、リスクアセスメントの実施等化学物質管理指針に基づく措置の実施について〕	
⑧労働安全衛生マネジメントシステムについて	1 運用中 2 構築中 3 準備段階 4 導入予定なし
⑨リスクアセスメントについて	1 実施中 2 準備段階 3 実施予定なし

⑩ 下請労働者、派遣労働者等に対する衛生管理について（該当がない場合は記入不要）	
⑪ 上記以外の特記事項について	
⑫ 総合所見について	

※ 改善はできるだけ速やかをお願いします。

また、改善結果を別添様式 3-3 「安全衛生診断改善報告書（労働衛生診断関係）」に記入し、診断実施後 1 ヶ月以内、遅くとも平成 19 年 3 月末日までに所轄労働局長あて提出するとともに、その写しを安全衛生診断員あて送付して下さい。

様式 2 - 4 記載要領

安全衛生診断実施結果報告書 記載要領（労働衛生診断関係）

1. 「安全衛生診断員」欄には、労働衛生コンサルタント又は衛生管理士のいずれかに○を付すとともに、署名、押印すること。
2. 「（主要製品等）」については、「自動車ラジエーター」（例）のように記入すること。
3. 「業務上疾病発生状況」欄には、②は①を除く数を、③は①及び②を除く数を記入すること。
4. 「業務上疾病発生概要」については、労働災害発生状況の①及び②のうち、平成17年及び本年に入って診断日までに発生した災害ごとに記入すること。
なお、記入に当たっては、「平成17年7月、局所排気装置が故障したまま有機溶剤（ジクロルメタン）を用いて部品の洗浄を行っていたところ、有機溶剤中毒で倒れ、休業30日となった。直接原因としては、局所排気装置を修理した上で作業を行わなかったこと、間接原因としては、作業手順書の不備、衛生教育が不十分であったこと。」（例）のように起因物、事故の型、原因（直接原因、間接原因）等を簡明に記入すること。
5. 「診断項目①」については、衛生委員会を設置する義務のない事業場の場合にあっては、衛生に関する事項について、関係労働者の意見を聴くための機会を設けているかどうか（安衛則23条の2）を確認し、どのような形式（委員会、全体会合、個別聴取等）によるかを確認すること。また、設けていない場合は、その理由を聞くとともに、関係労働者の意見を聴くための機会を設けるよう指導すること。
6. 「診断項目⑤」については、法定の教育はもとより、法定外の安全衛生教育についてもその実施について留意すること。
7. 「診断項目⑧」については、該当する番号に○を付すこと。なお、該当するものがない場合は、空欄に自由記入すること。
なお、「運用中」とは、安全衛生方針の表明、安全衛生目標の設定、安全衛生計画の作成後、PDCAサイクルが回り始めた段階以降のことをいい、「構築中」とは、システム導入の正式決定からPDCAサイクルが回るまでの状態をいう。また、「準備段階」とは、システム導入の意欲はあるものの、導入を事業場として正式に決定していない段階をいう。

8. 「診断項目⑨」については、該当する番号に○を付すこと。なお、該当するものがない場合は、空欄に自由記入すること。

なお、「実施中」とは、危険有害要因の特定等具体的にリスクアセスメントの実施を開始している段階をいい、「準備段階」とは、リスクアセスメント実施の意欲はあるものの、実施を事業譲渡して正式に決定していない段階をいう。

また、「実施中」の場合には、リスクアセスメント実施の際の労働者の参加の状況を確認するとともに、参加させていない場合は、参加の必要性を説明し、指導すること。

9. 「診断項目⑩」については、同一事業場内において下請労働者や派遣労働者等が混在する場合等において実施されている衛生管理上の措置等について記載すること。

10. 本様式の項目について、記載すべき事項がない場合はその箇所を削除し、また、記載しきれない場合は行数を増やして（ワープロ等使用）記入する等適宜変更しても差し支えないこと。

<様式3-1>

安全衛生診断改善報告書
(安全診断関係)

平成 年 月 日

労働局長 殿

所在地

事業場名

電話番号 ()

代表者氏名 印

平成 年 月 日受診しました安全診断の結果、下記のとおり改善を図ることといたしましたので報告します。

改善について指摘された事項	改善した(又はする予定の)内容

- ※ 指摘事項に対し、改善の内容を予定も含め記入してください。
- ※ 改善内容について写真、図面等による場合は別添にして下さい。

<様式3-2>

安全衛生診断改善報告書
(リスクアセスメント診断関係)

平成 年 月 日

労働局長 殿

所在地

事業場名

電話番号 ()

代表者氏名 印

平成 年 月 日及び平成 年 月 日に受診しましたリスクアセスメント診断の結果、下記のとおり改善を図ることといたしましたので報告します。

改善について指摘された事項	改善した(又はする予定の)内容

(今回の診断を受診した結果の今後のリスクアセスメントに関する取組み等について)

リスクアセスメントの実施	(受診前) 1 実施中 2 準備段階 3 実施予定なし (受診後) 1 実施(予定) 2 検討中 3 実施予定なし
リスクアセスメントの考え方についての理解度	1 よく理解できた 2 概ね理解できた 3 よく理解できなかった (理由:) 4 まったく理解できなかった (理由:)
その他 (自由記入)	

※ 指摘事項に対し、改善の内容を予定も含め記入してください。

※ 改善内容について写真、図面等による場合は別添にしてください。

<様式3-3>

安全衛生診断改善報告書
(労働衛生診断関係)

平成 年 月 日

労働局長 殿

所在地

事業場名

電話番号 ()

代表者氏名 印

平成 年 月 日受診しました労働衛生診断の結果、下記のとおり改善を図ることといたしましたので報告します。

改善について指摘された事項	改善した(又はする予定の)内容

- ※ 指摘事項に対し、改善の内容を予定も含め記入してください。
- ※ 改善内容について写真、図面等による場合は別添にして下さい。

<様式4>

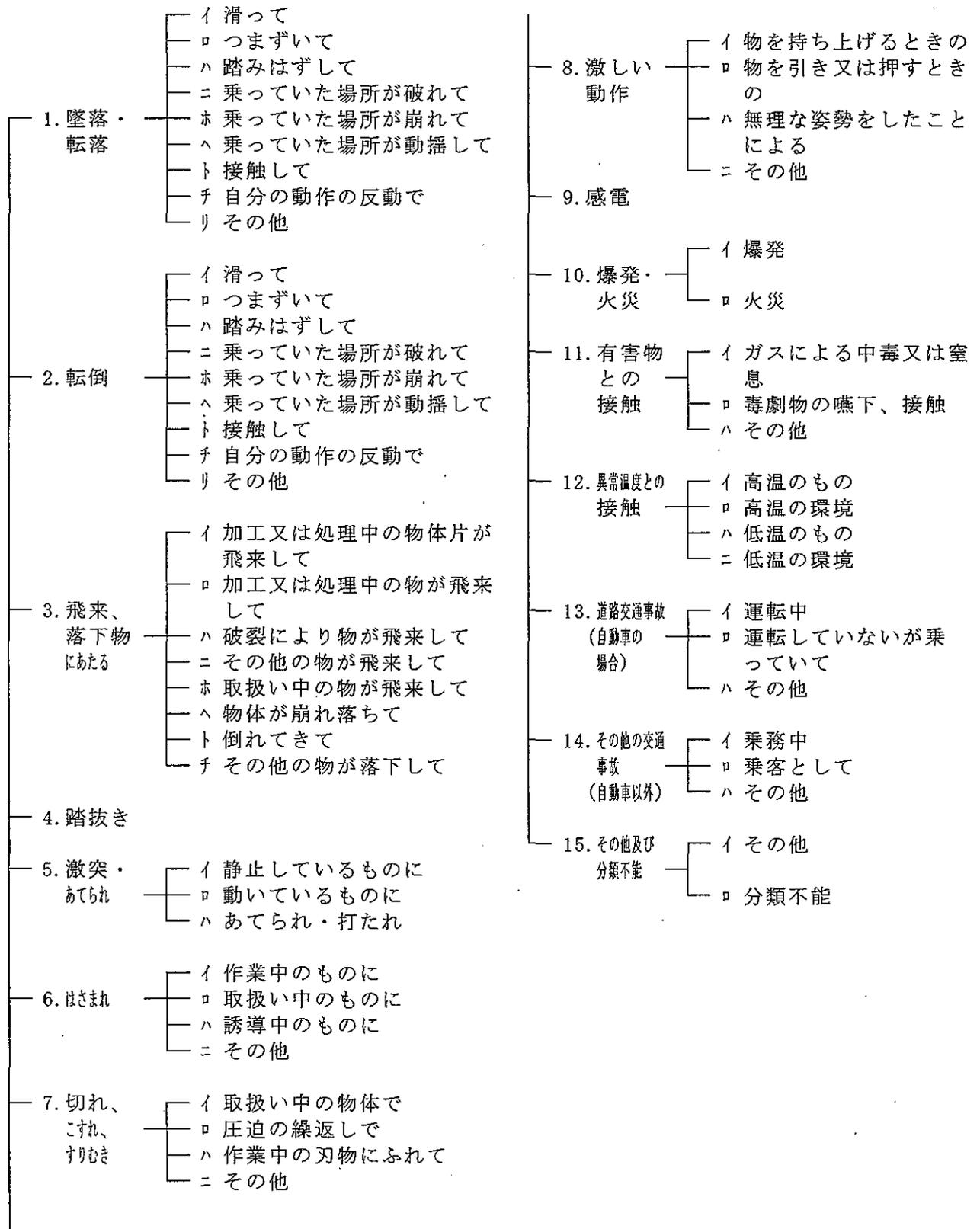
労働災害要因分析表（安全診断関係）

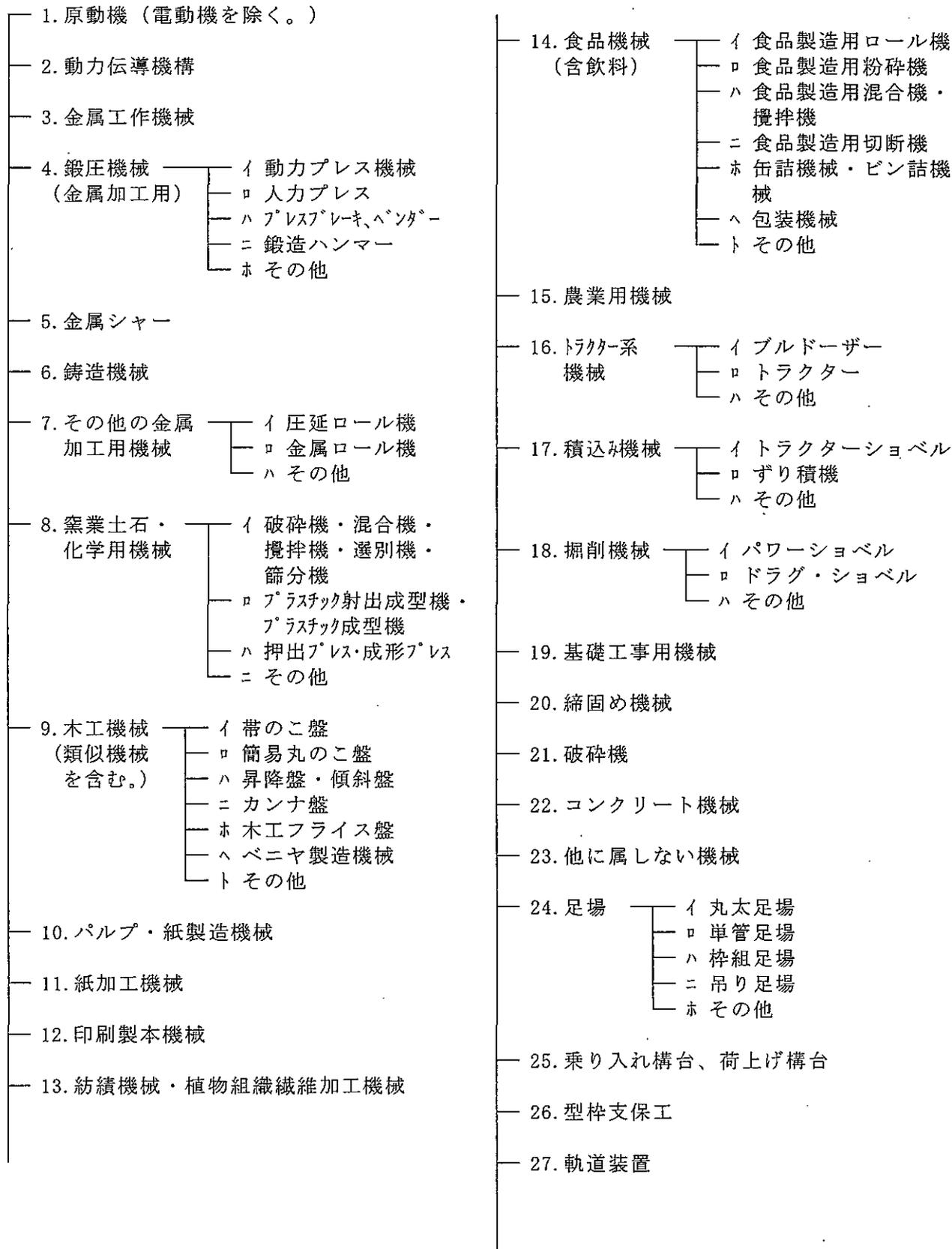
表-1 被災者の状況等分析（全産業）

1. 事業の種類	<input type="checkbox"/> イ	製造業	} (中分類業種) <input type="text"/>
	<input type="checkbox"/> ロ	土石採取業	
	<input type="checkbox"/> ハ	陸上貨物運送事業	
	<input type="checkbox"/> ニ	建設業	
	<input type="checkbox"/> ホ	林業	
	<input type="checkbox"/> ヘ	上記以外の業種	
2. 発生年月	<input type="checkbox"/> イ	平成17年 : 月	
	<input type="checkbox"/> ロ	本年 : 月	
3. 性別	<input type="checkbox"/> イ	男	
	<input type="checkbox"/> ロ	女	
4. 年齢	<input type="checkbox"/> イ	20歳未満	
	<input type="checkbox"/> ロ	20歳～50歳未満	
	<input type="checkbox"/> ハ	50歳～65歳未満	
	<input type="checkbox"/> ニ	65歳以上	
5. 国籍	<input type="checkbox"/> イ	日本	
	<input type="checkbox"/> ロ	外国	
6. 経験期間	<input type="checkbox"/> イ	1か月未満	
	<input type="checkbox"/> ロ	1か月～1年未満	
	<input type="checkbox"/> ハ	1年～10年未満	
	<input type="checkbox"/> ニ	10年以上	
7. 被災の程度	<input type="checkbox"/> イ	死亡	
	<input type="checkbox"/> ロ	障害等級14級以上	
	<input type="checkbox"/> ハ	休業1年以上	
	<input type="checkbox"/> ニ	休業2か月～1年未満	
	<input type="checkbox"/> ホ	休業1か月～2か月未満	
	<input type="checkbox"/> ヘ	休業4日～1か月未満（外国人労働者に限る。）	
8. 事故時の 作業形態	<input type="checkbox"/> イ	単独作業	
	<input type="checkbox"/> ロ	グループ作業	
9. 作業の内容	<input type="checkbox"/> イ	繰り返し実施している作業	
	<input type="checkbox"/> ロ	修理、保全、緊急等の臨時作業	
10. 被災者の 就労形態	<input type="checkbox"/> イ	常勤作業者	
	<input type="checkbox"/> ロ	パート、臨時などの作業者	

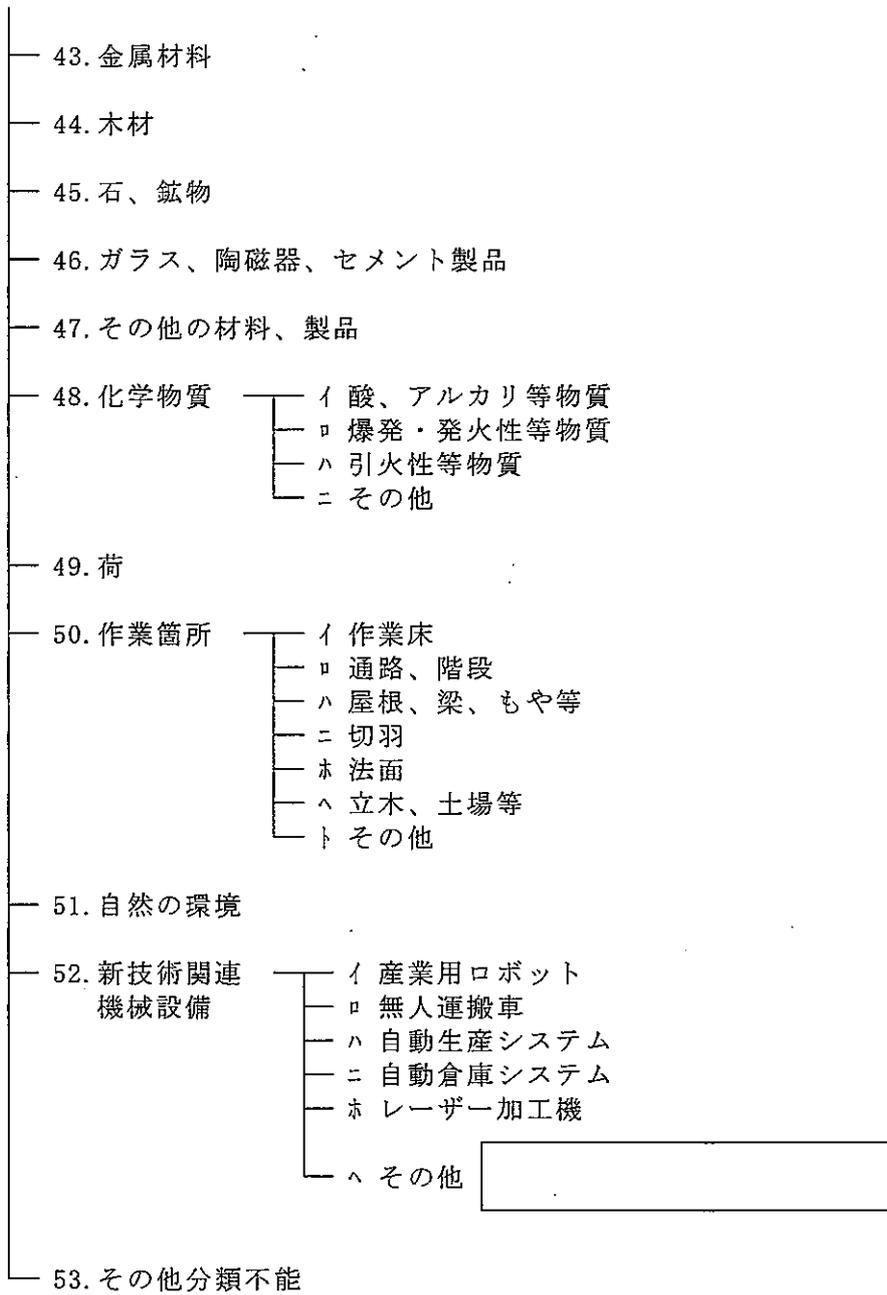
表-2

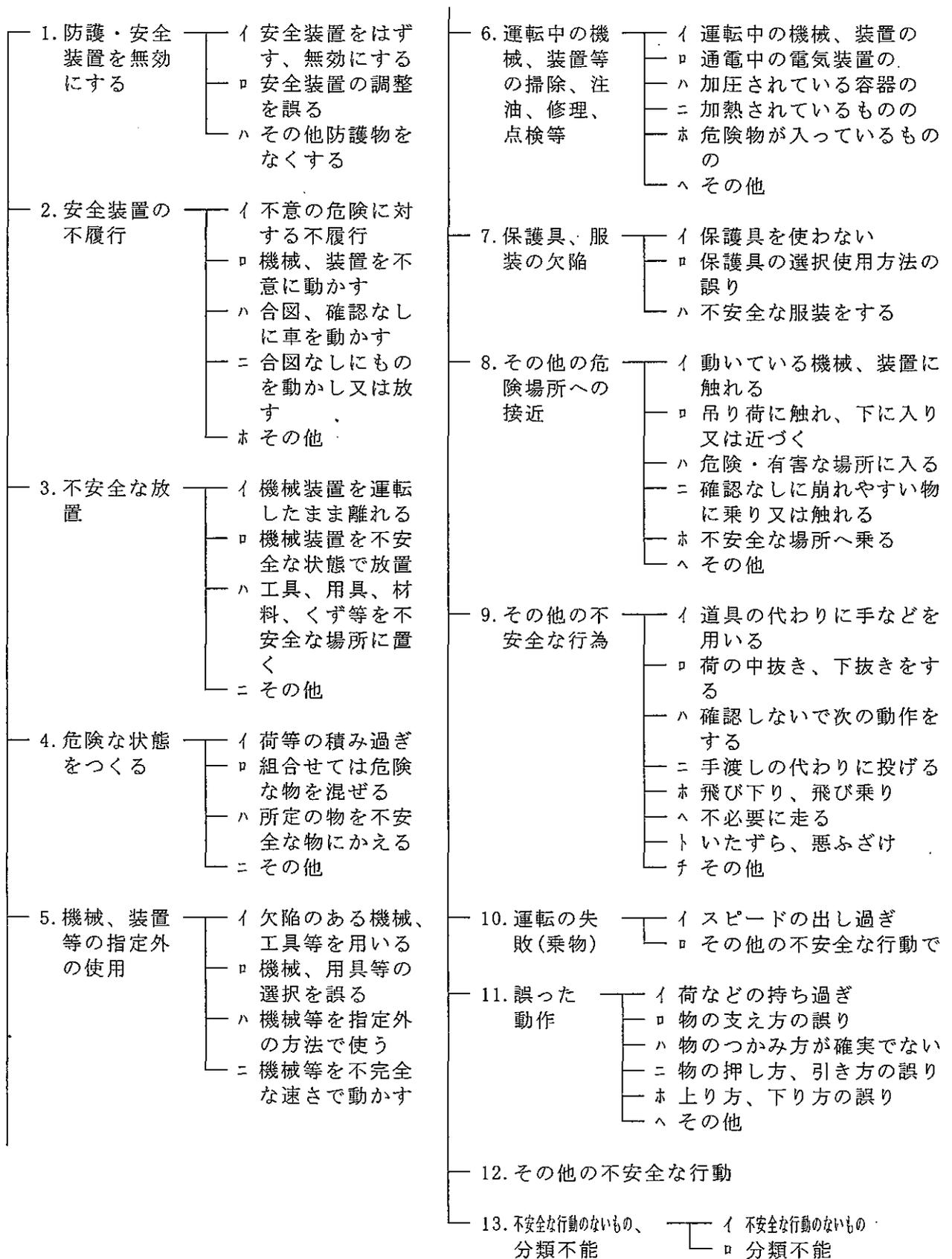
災害の型別要因分析 (全産業)

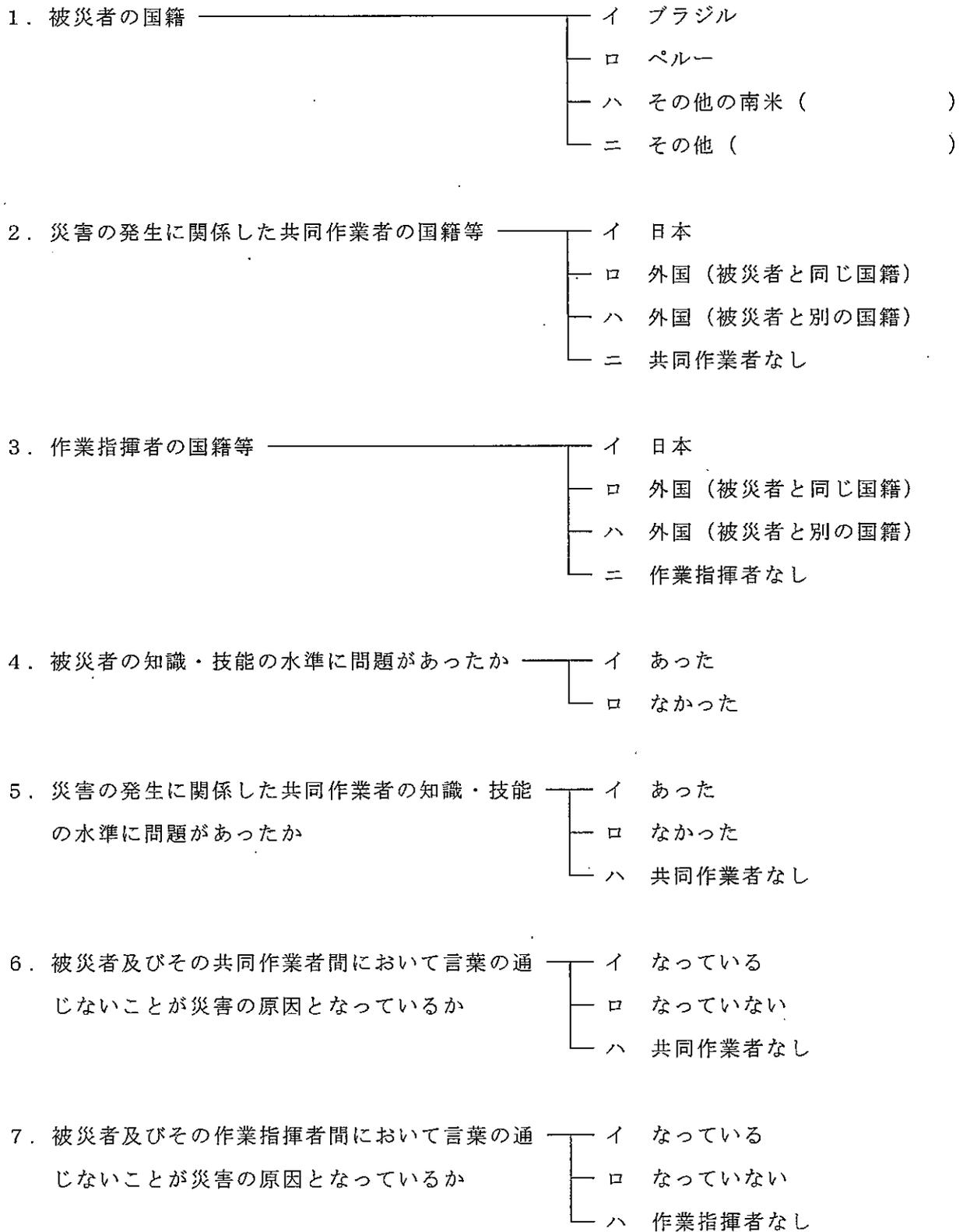




- 28. 物揚装置
 - イ クレーン、移動式クレーン、デリック
 - ロ エレベーター、簡易リフト
 - ハ 高所作業車
 - ニ 集材装置、運材装置
 - ホ その他
- 29. コンベヤー、搬送装置
- 30. 運搬機
 - イ 貨物自動車
 - ロ 構内運搬車
 - ハ フォークリフト
 - ニ ショベルローダー
 - ホ 不整地運搬車
 - ハ 林内作業車
 - ト その他
- 31. 乗物
 - イ マイクロバス
 - ロ その他
- 32. 電気設備
- 33. ボイラー
 - イ ボイラー
 - ロ 圧力容器（化学設備を除く。）
 - ハ 化学設備及びその附属設備等
 - ニ その他
- 34. 炉、窯、釜
- 35. 乾燥設備
- 36. 溶接装置
- 37. 他に属しない装置
- 38. 動力工具
 - イ 手持ち丸のこ盤
 - ロ ドリル、グラインダー、釘打機等
 - ハ チェンソー、刈払機
 - ニ その他
- 39. 手工具（非動力）
- 40. 用具
 - イ 脚立、移動はしご等
 - ロ ロープ
 - ハ その他
- 41. 建物、構築物
- 42. 什器







様式4 記載要領

労働災害要因分析表（安全診断関係）

1. 表-1 被災者の状況等分析（全産業）について
 - (1) 各項目について、それぞれイ、ロ、ハ等のいずれか1つを○で囲むこと。
 - (2) 1の□内には、業種の中分類（例：土石採取業であれば「採石業」等）を記入すること。
2. 表-2 災害の型別要因分析（全産業）について
 - (1) 型別項目の1～15のうち最も適当なもの1つを○で囲み、細目（イ、ロ、ハ等）のあるものについては、そのうちいずれか1つを○で囲むこと。
 - (2) 型別項目の選択について判断に迷う場合には、災害防止対策を考える立場での重要度により選択すること。（例：「自動車運転中、前方走行中の自動車に激突した」では、5か13の選択に迷うが、この場合は13、イに分類する。）
3. 表-3 災害の起因物要因分析（全産業）について
 - (1) 起因物項目1～53のうち最も適当なもの1つを○で囲み、細目（イ、ロ、ハ等）のあるものについては、そのうちいずれか1つを○で囲むこと。
 - (2) 起因物項目52の新技术関連機械設備について、他の項目との選択に迷う場合には、52に分類するものとする。また、その細目のイ～ホに分類されない機械設備については、へ「その他」の□内にその機械設備名を記載すること。
4. 表-4 不安全な行動要因分析（全産業）

記入方法は、2(1)と同様であること。
5. 表-5 外国人労働者の労働災害の要因分析（全産業）
 - (1) 項目2の「共同作業員」には、作業指揮者は含めないこと。
 - (2) 項目6及び7の「言葉が通じないこと」とは、日常挨拶、基礎的な単語の理解を欠くことのみならず、共同作業員等との間に必要な連絡・調整ができないもの等を含めること。

<様式5>

労働災害要因分析結果表 (安全診断関係)

安全衛生診断員	印
---------	---

1. 診断対象事業場の名称

(所在地)

1. 事業の種類	
2. 発生年月	
3. 性別	
4. 年齢	
5. 国籍	
6. 経験年数	
7. 被災の程度	

8. 事故時の作業形態		
9. 作業の内容		
10. 被災者の就労形態		
11. 災害の型		
12. 災害の起因物		
13. 不安全な行動		
14. 外国人労働者の関係した災害の要因分析	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2. 診断対象事業場の名称

(所在地)

1. 事業の種類	
2. 発生年月	
3. 性別	
4. 年齢	
5. 国籍	
6. 経験年数	
7. 被災の程度	

8. 事故時の作業形態		
9. 作業の内容		
10. 被災者の就労形態		
11. 災害の型		
12. 災害の起因物		
13. 不安全な行動		
14. 外国人労働者の関係した災害の要因分析	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

(記載注意) 「2. 発生年月」の左欄には、様式4の表1の「2. 発生年月」のイ又はロのいずれかの記号を、右欄には発生月の数字を記入すること。

<様式6>

安全衛生診断分析評価結果報告書（安全診断関係）

安全衛生診断員	印
診 断 日	平成 年 月 日

事業場の名称	
所在地	TEL ()
代表者名	

分析評価事項	分析評価に関する意見
1. 労働災害の発生及びその発生要因の状況	
2. 安全管理体制の確立及び安全管理者等の職務の遂行状況	

3. 安全点検体制の 確立及び安全点検 の実施状況	
4. 機械設備の安全 化の状況	
5. 作業手順の確立 と作業方法の改善 の状況	
6. 安全衛生教育の 実施状況	
7. 上記以外の状況	
8. 総合的な事項	

対象候補事業場名簿（北海道）局

その1

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			○安全・RA・衛生	(1)ーア	
			○安全・RA・衛生	(1)ーア	
			○安全・RA・衛生	(1)ーア	
			○安全・RA・衛生	(1)ーア	
			○安全・RA・衛生	(1)ーイ	平成10年度安全管理特別指導事業場
			○安全・RA・衛生	(1)ーア	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（北海道）局

その2

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
予	[Redacted]	[Redacted]	○安全・RA・衛生	(1)ーイ	平成17年度安全管理特別指導事業場
			○安全・RA・衛生	(1)ーア	
			○安全・RA・衛生	(1)ーア	
			○安全・RA・衛生	(4)	平成4年度 受診
			安全・○RA・衛生	(1)	
			安全・○RA・衛生	(1)	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（北海道）局

その3

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全・RA・衛生	(1)	
			安全・RA・衛生	(1)	
			安全・RA・衛生	(1)	
			安全・RA・衛生	(2)	
			安全・RA・衛生	(2)	平成11年度労働衛生管理特別指導事業場
			安全・RA・衛生	(4)	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (青 森) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	第1の2の(1)	マネジメントシステムの導入を検討中
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	第1の2の(2)	
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	第1の2の(1)	
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	第1の2の(1)	5年連続して休業4日以上の災害が発生
			安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生	第1の3の(2)	平成16年度の労働衛生管理特別指導事業場
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	第1の1の(1)の7	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（青森）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			○安全・RA・衛生	第1の1の(1)のイ	平成17年度の安全管理特別指導事業場
			○安全・RA・衛生	第1の1の(2)のア	建設機械に関係した災害が多発
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（岩手）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全	(1)ウ	休業1ヶ月以上の災害は発生していないが、平成16年以降毎年休業災害が発生している。
			安全	(2)ア	
			安全	(1)ア (1)イ	毎年多数の災害が発生している。 平成17年には本社工場において休業災害が4件発生し、そのうち3件が1ヶ月以上の災害である。 当該企業の他工場でも災害発生が多発しており、本社と各工場間での連携等にも配慮が必要である。
			RA	(2)	リスクアセスメントを実施中であるが、リスクの低減に至っていないものもあり、リスクアセスメントの実施手法等にかかる指導が必要である。
			安全	(1)イ	
			RA	(2)	
			RA	(2)	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（宮城）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全 ○ RA 衛生	2(2)	労働安全衛生マネジメントシステムの構築を検討しており、リスクアセスメントの実施に意欲的である。
			安全 ○ RA 衛生	2(2)	労働安全衛生マネジメントシステムの構築を検討しており、リスクアセスメントの実施に意欲的である。
			安全 ○ RA 衛生	2(1)	危険設備による労働災害が発生しており、リスクアセスメント診断の実施が必要である。
			安全 ○ RA 衛生	2(1)	危険設備による労働災害が発生しており、リスクアセスメント診断の実施が必要である。
			安全 ○ RA 衛生	2(2)	労働安全衛生マネジメントシステムの構築を検討しており、リスクアセスメントの実施に意欲的である。
			安全 ○ RA 衛生	2(2)	労働安全衛生マネジメントシステムの構築を検討しており、リスクアセスメントの実施に意欲的である。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（宮城 局）

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			○安全・RA・衛生	1(1)ア	休業1ヶ月の災害が繰り返し発生しており、安全教育の充実を図る必要がある。
			○安全・RA・衛生	1(1)ア	食品加工用機械による災害が繰り返し発生しており、対策の必要あり。 かま
			○安全・RA・衛生	1(1)ア	不安全行動による災害が多発しており、安全教育等の対策が必要である。
			○安全・RA・衛生	1(1)イ	平成13年度に安全管理特別指導事業場に指定。その後の安全活動の確認を含めた追加指導が必要である
			安全・RA・○衛生	3(3)	労働衛生管理指定事業場であり、さらなる水準向上のため安全衛生診断員による指導を行いたい。
			安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)～ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（秋田）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生	3(4)	酸化インジウム製造事業場。粉じん管理区分3
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	1(1)ア	
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	1(1)ア	
			安全 <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	2(1)	
			安全 <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	2(2)	
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	1(5)	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（山形）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全 RA・衛生	第1の1の(1)のウ	平成18年度の安全管理特別指導事業場である。
			安全 RA・衛生	第1の2の(1)	平成18年度の安全管理特別指導事業場である。
			安全 RA・衛生	第1の3の(4)	平成13年度安全診断実施事業場である。
			安全 RA・衛生	第1の1の(2)のア	平成17年度に障害等級に該当する災害が発生しており、安全管理上問題があるもの。
			安全 RA・衛生	第1の1の(1)のウ	平成18年度の安全管理特別指導事業場である。
			安全 RA・衛生	第1の2の(1)	平成11年以降、休業4日以上災害が6件発生している。うち金属加工用機械による災害が4件である。
			安全 RA・衛生	第1の2の(2)	平成18年度の安全管理特別指導事業場である。
			安全 RA・衛生	第1の2の(1)	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿(福島) 局

番号	事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		
				安全・RA・ 労働衛生の別	該当す る基準	診断にあたって特に留意すべき事項
				安全・ <input checked="" type="radio"/> RA ・衛生	2-(1)	平成18年災害2件発生、じん肺管理決定あり
				安全・ <input checked="" type="radio"/> RA ・衛生	2-(1)	リスクアセスメントによる安全衛生管理を展開中
				安全・ <input checked="" type="radio"/> RA ・衛生	2-(1)	平成16年に有害物等との接触により3人が休業する災害が発生している。
				安全・RA ・ <input checked="" type="radio"/> 衛生	3-(2)	平成14年度の衛特事業
				安全・ <input checked="" type="radio"/> RA ・衛生	2-(1)	平成18年度の安特事業場
				<input checked="" type="radio"/> 安全・RA ・衛生	1-(1)-ウ	平成18年度の安特事業場
				安全・ <input checked="" type="radio"/> RA ・衛生	2-(1)	安全衛生に前向きな事業場である。 [Redacted]
				安全・ <input checked="" type="radio"/> RA ・衛生	2-(1)	はさまれ、巻き込まれ災害が多発
				<input checked="" type="radio"/> 安全・RA ・衛生	1-(5)	平成15年に発煙硫酸の大量漏洩により2名被災
				<input checked="" type="radio"/> 安全・RA ・衛生	1-(5)	17年度災害3件発生、いずれも重量物取り扱いの災害である

注1: 「安全・労働衛生の別」の欄には、安全・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(I)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工機械による、切れ、こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトの爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 茨 城 ） 局

事業場名 [業種名 (中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全・ <input checked="" type="checkbox"/> RA・衛生	2 - (1)	各種機械設備及び作業等に係るリスクアセスメントの実施と労働安全衛生マネジメントシステムの導入。
			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・RA・衛生	1 - (1) - ア	災害多発 (平成11年以降、休業4日以上6件) ※食品加工用機械及び包装用機械には含まれた災害、通路での転倒災害など。
			安全・ <input checked="" type="checkbox"/> RA・衛生	2 - (1)	各種機械設備(溶解炉)等に係るリスクアセスメントの実施と労働安全衛生マネジメントシステムの導入。
			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・RA・衛生	1 - (1) - ア	災害が多発し、安全衛生管理上問題がある。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。(記入例: 安全診断の場合(1) - ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 茨 城 ） 局

事業場名 [業種名 (中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全・ <input type="checkbox"/> RA <input type="checkbox"/> ・衛生	2 - (1)	各種機械設備等に係るリスクアセスメントの実施と労働安全衛生マネジメントシステムの導入。
			<input type="checkbox"/> 安全 <input type="checkbox"/> ・RA・衛生	1 - (1) - ア	災害多発 (平成17年、休業4日以上災害2件) ※動力機械等によるはさまれ災害が頻発している。
			安全・ <input type="checkbox"/> RA <input type="checkbox"/> ・衛生	2 - (1)	機械設備導入時のリスクアセスメント実施、労働安全衛生マネジメントシステムの導入を検討中である。
			安全・RA・ <input type="checkbox"/> 衛生	3 - (4)	有機溶剤の作業環境測定の結果、第3管理区分の作業場がある。

注1：「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。(記入例：安全診断の場合(1) - ア等)

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 茨 城 ） 局

事業場名 [業種名 (中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	機械設備等には含まれる災害等が多発している。
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	フォークリフト、産業用ロボットとの接触防止対策及び高所作業場所での墜落防止対策が必要である。
			安全・RA・衛生	1-(5)	機械の包括的な基準についての理解不足及び転倒災害等が多発している。
			安全・RA・衛生	2-(2)	平成18年10月より労働安全衛生マネジメントシステムを本格的に取り組む予定をしている。

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2:「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3:「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿(栃木)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概要)	区分	
			安全・RA・衛生 の別	該当する基準
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	RA	1-2-(2)
			安全	1-1-(1)
			安全	1-1-(1)
			安全	1-1-(1)
			衛生	1-3-(4)
			RA	1-2-(1)
			安全	1-1-(1)
			RA	1-2-(2)

注1: 「安全・労働衛生の別」の欄には、安全、衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の1の1-1の(1)のイ、ロ、ハ、(2)のイ、ロ、ハ、(3)、(4)、(5)、のイ、ロ、ハ、又は(6)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の1の1-2の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)-ア等)

対象候補事業場名簿(群馬局)

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断に当たって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(1)のア	射出成型機によるはさまれ災害
			安全・RA・衛生	2の(1)	巻き込まれ、転倒等在来型災害が多い
			安全・RA・衛生	2の(2)	労働安全衛生マネジメントシステムの取組みを検討中
			安全・RA・衛生	3の(2)	平成17年度衛生管理特別指導事業場
			安全・RA・衛生	2の(1)	金属加工用機械のはさまれ、巻き込まれ災害等
			安全・RA・衛生	(1)のア	金属加工用機械のはさまれ、巻き込まれ災害

注1:「安全・RA・衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2:「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)ア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RAの場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3:「診断に当たって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿(群馬局)

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断に当たって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
[]	〒 Tel	人	安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	2の(2)	リスクアセスメントの取組みの意欲が見られる
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	2の(2)	リスクアセスメントの取組みの意欲が見られる
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	(1)のア	墜落・転落災害が発生
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	(1)のア	立木伐倒時の退避不十分な災害が多い
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	(1)のア	はさまれ・巻き込まれ災害あり
[]	〒 Tel	人	安全・RA・衛生		

注1:「安全・RA・衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2:「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)ア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RAの場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3:「診断に当たって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿(埼玉)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全	1 (1)-ウ	
			安全	1 (3)	
			RA	2 (1)	
			RA	2 (1)	
			安全	(1)-ア	
			RA	(2)	

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2:「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)(4)(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3:「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿(埼玉)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全	(1)ア	
			RA	2 (1)	
			RA	2(1)	
			衛生	3(4)	
			安全	1(1)ア	
			安全	1(3)	19年1月 従事者の指導を希望。
			RA	2(2)	
			衛生	3(1)	
			衛生	3(1)	

37

37

			安全	1(1)-ア	
			RA	2(2)	
			安全	(1)イ	
			RA	2(2)	
			安全	1-(5)	
			RA	2-(2)	10月11月を除いた時期の 指号を希望
		人	安全・RA・衛生		
		人	安全・RA・衛生		
		人	安全・RA・衛生		

対象候補事業場名簿(千葉労働局)

No.	事業場名 (業種名(中分類))	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断に当たって特に留意すべき事項
				安全・RA・衛生の別	該当する基準	
				安全・RA・衛生	(3)	食料品加工用機械を使用中、当該機械にはさまれる災害が発生。
				安全・RA・衛生	(1)-ア	印刷機械に挟まれる災害が発生。
				安全・RA・衛生	(1)-ア	一般動力機械(ヒートシール機)に左指先先端を挟まれ切断する災害が発生。
				安全・RA・衛生	(2)	労働衛生管理特別指導事業場であった事業場であるが、有機溶剤健康診断で有所見者が認められた。
				安全・RA・衛生	(1)-ア	労働災害H17年に2件(はさまれ災害1件、切創災害1件)発生
				安全・RA・衛生	(2)	工場棟増設に伴うリスクアセスメントの導入計画あり。
				安全・RA・衛生	(2)	平成14年度衛特事業場、H17年災害1件、有害業務として鉛業務あり。

注1:「安全・RA・衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2:「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。(記入例:安全診断の場合(1)のア等)

注3:「診断に当たって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断に当たって特に留意すべき事項を記入すること。(記入例:加工用機械による切れ・こすれ災害が多発、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿(千葉労働局)

No.	事業場名 (業種名(中分類))	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断に当たって特に留意すべき事項
				安全・RA・衛生の別	該当する基準	
				安全 RA・衛生	(1)ーア	平成17年に印刷機に係る休業1ヶ月以上労働災害が2件発生。
				安全 RA・衛生	(1)	平成17年に休業1ヶ月以上の災害が1件発生。
				安全 RA・衛生	(1)ーア	シャワーに挟まれる労働災害発生。
				安全 RA・衛生	(1)ーア	平成17年に木材加工用機械に起因する休業災害が2件発生。
				安全 RA・衛生	(2)	平成16,17,18年に休業60日以上の災害が発生。
				安全 RA・衛生	(2)	労働安全衛生に対して意欲的であり、一層の安全衛生の向上のためにリスクアセスメント指針に基づくリスクアセスメントの導入が望まれる事業場である。
				安全 RA・衛生	(1)ーア	フォークリフトに乗せた鉄板を落下させ両足を切断する災害があり。

注1:「安全・RA・衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2:「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。(記入例:安全診断の場合(1)のア等)

注3:「診断に当たって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断に当たって特に留意すべき事項を記入すること。(記入例:加工用機械による切れ・こすれ災害が多発、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿(千葉労働局)

No.	事業場名 (業種名(中分類))	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断に当たって特に留意すべき事項
				安全・RA・衛生の別	該当する基準	
				安全・ <u>RA</u> ・衛生	(1)	食料品加工用機械による災害が多発。
				<u>安全</u> ・RA・衛生	(1)-ア	クリーニング事業場で労働災害多発
				安全・ <u>RA</u> ・衛生	(1)	平成18年度安全管理特別指導事業場(平成17年度から継続)である。リスクアセスメントの重要性の理解と本事業の活用により安全衛生水準の向上を見込む。
				安全・RA・衛生		
				安全・RA・衛生		
				安全・RA・衛生		
				安全・RA・衛生		

注1:「安全・RA・衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2:「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。(記入例:安全診断の場合(1)のア等)

注3:「診断に当たって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断に当たって特に留意すべき事項を記入すること。(記入例:加工用機械による切れ・こすれ災害が多発、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（東京）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(1)ア	食品加工用機械によるはさまれ災害
			安全・RA・衛生	(1)ア	食品加工用機械によるはさまれ災害
			安全・RA・衛生	(1)ア	印刷機によるはさまれ災害
			安全・RA・衛生	(1)ア	ボール盤によるはさまれ災害
			安全・RA・衛生	(1)ア	休業1ヶ月以上の災害多発
			安全・RA・衛生	(1)ア	平成17年休業災害2件

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（東京）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(1)ア	昇降盤による切れ災害
			安全・RA・衛生	(1)ア	包装機械によるはさまれ災害
			安全・RA・衛生	(3)	裁断機による切れ災害
			安全・RA・衛生	(3)	皮革加工機によるはさまれ災害
			安全・RA・衛生	(3)	ロール機によるはさまれ災害
			安全・RA・衛生	(4)	平成15年度安全診断対象・17年休業災害3件

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（東京）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・ <u>RA</u> ・衛生	(1)	食品加工用機械による切れ災害
			安全・ <u>RA</u> ・衛生	(1)	ボール盤によるはさまれ災害
			安全・ <u>RA</u> ・衛生	(1)	昇降盤によるはさまれ災害
			安全・ <u>RA</u> ・衛生	(1)	昇降盤による切れ災害
			安全・ <u>RA</u> ・衛生	(1)	旋盤による切れ災害
			安全・ <u>RA</u> ・衛生	(1)	コンベアによるはさまれ災害

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（東京）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[]	〒	人	安全・(RA)・衛生	(1)	コンベアによるはさまれ災害
			安全・(RA)・衛生	(1)	溶接機によるはさまれ災害
			安全・(RA)・衛生	(1)	ルーターによるはさまれ災害
			安全・(RA)・衛生	(2)	休業災害平成17年1件、平成18年1件
[]	〒	人	安全・RA・衛生		
[]	〒	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (東京)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[]	〒	80人	安全・RA・ <u>衛生</u>	(4)	鉛曝露の血中、尿検査において、分布2、3の者毎回数数各13人と。
		8人	安全・RA・ <u>衛生</u>	(4)	同 上
		5人	安全・RA・ <u>衛生</u>	(1)	
		37人	安全・RA・ <u>衛生</u>	(3)	労働衛生工学担当のコンサルタートを希望
[]	〒	人	安全・RA・衛生		
[]	〒	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象事業場名簿（神奈川）局

事業場名 [業種名（中分類）]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって 特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全	(1)-ア	平成17年に2件(フォークリフト、ローラ器)の休業災害。平成16年度安特事業場
			安全	(5)	作業行動における労働災害が多発している
			安全	(1)-ア	重量物取り扱いによる腰痛災害が多発
			安全	(1)-ア	
			安全	(1)-イ	ヒヤリハットに力を入れているのでリスクアセスメントを指導してほしい

37

	安全	(1)-ア	プレス加工作業あり。鉄板を台車で運搬中の災害あり。
	安全	(1)-ア	
	安全	(1)-ア	
	安全	1-(3)	外国人による災害が多発
	安全	(1)-ア	
	RA	2-(1)	平成17年度安特事業場 ハム、ソーセージの製造用の食料品加工機械多数あり
	RA	2-(1)	作業床における転倒災害、通路における転倒・墜落災害が多発

27

RA	2-(1)	クレーン災害が発生している
RA	2-(1)	作業床における転倒災害多発
RA	2-(2)	平成17年度安全管理特別指導事業場
RA	2-(2)	平成17年度安全管理特別指導事業場
RA	2-(1)	災害多発、リスクアセスメントを積極的に実施する意欲がある
RA	2-(1)	
RA	2-(2)	

37

RA	2-(1)	
RA	2-(2)	鉛の作業環境測定結果が管理ⅢからⅡになったが継続して指導を要すると思料される。
RA	2-(1)	
RA	2-(2)	食品機械等の本質安全化等リスクアセスメントの取組みに意欲的である。
RA	2-(2)	鋼板加工機械等のリスクアセスメントの取組みに意欲的である。
RA	2-(2)	平成15年及び17年と疾病が発生。事業場は、積極的な姿勢を示している
RA	2-(2)	主に土木工事。地域の模範となる事業場として育成が必要

衛生	3-(2)	平成11年度衛特事業場。有機溶剤、粉じん業務あり
衛生	3-(2)	平成5年度衛特事業場、再指導が望ましい。粉じん業務あり
衛生	3-(4)	トルエン代謝検査(馬尿酸)で26名中分布2が6名及び分布3が5名に及んでいる

対象候補事業場名簿（新潟）局

事業場名 〔業種名(中分類)〕	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の	該当する基準	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生	第1-3-(4)	粉じん作業環境測定で管理区分Ⅲが継続している。粉じんの排気方法に苦慮している。
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	第1-2-(1)	ISO18000取得事業場。計画届の免除認定を得たいと意欲的である
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	第1-2-(2)	労働安全衛生マネジメント構築中。リスクアセスメントの実施に意欲的であり、本診断を通し、安全衛生水準の向上が見込まれる。
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	第1-1-(ア)	旋盤によるはさまれ巻き込まれ災害が多発。現場内での各職制ごとの職場権限の明確化を含めた組織体制の見直しが必要。
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	第1-2-(1)	休業4日未満の災害が多発
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	第1-1-(1)-ア	旋盤、研削盤による切れ、巻き込まれ災害が多発。
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	第1-2-(2)	生産工程における自動化した機械の挟まれ巻き込まれ災害が多発。
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	第1-1-(1)-ア	自動販売機の据付作業の際による挟まれ災害が多発(自動販売機の内部の冷気を温熱に切り替え業務があるため、診断日は10月上旬を希望)
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	第1-2-(2)	マネジメントシステムを実施しており、安全専門家による診断で、より一層安全水準の向上が見込まれる。
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	第1-1-(1)-ア	平成17年に3件の労働災害があったこと。また近年労働者が50人以上の規模となり、安全衛生管理体制を確立したが、活動が低調である。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れこすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（富山）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1-(1)-ウ	木工機械、ベルトコンベア、フォークローダによる労働災害が発生している
			安全・RA・衛生	1-(1)-ウ	設備自体の安全化 作業標準の作成
			安全・RA・衛生	1-(1)-ウ	トラックからの墜落による死亡災害発生。
			安全 RA 衛生	2-(1)	機械装置によるはさまれ災害多い。
			安全・RA・衛生	2-(1)	機械試運転中に爆発による重大災害発生。
			安全・RA・衛生	2-(1)	木工機械、ベルトコンベア、フォークローダによる労働災害が発生している
			安全・RA・衛生	2-(2)	17年度リスクアセスメント担当者研修受講
			安全・RA・衛生	3-(2)	17年度 衛生管理特別事業場 アーク溶接による粉じん障害防止

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れこすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

平成18年度労働災害防止特別安全衛生診断事業に係る対象候補事業場名簿

(石川局)

事業場名 [業種(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全・ <input type="checkbox"/> RA・衛生	2の(1)	
			安全・ <input type="checkbox"/> RA・衛生	2の(1)	
			安全・RA・ <input type="checkbox"/> 衛生	3の(3)	
			<input type="checkbox"/> 安全・RA・衛生	1の(1)のイ	通路等の確保について、対策が必要。労働者に対する安全衛生教育の充実が必要。
			安全・ <input type="checkbox"/> RA・衛生	2の(2)	平成17年度からリスクアセスメントに取り組んでいる。
			<input type="checkbox"/> 安全・RA・衛生	1の(1)のイ	昨年度及び平成13年度の安全管理特別指導事業場であったが、一定の効果は認められたものの追加指導が必要。
			<input type="checkbox"/> 安全・RA・衛生	1の(1)のイ	平成13年度、15年度、16年度の安全管理特別指導事業場、チェーンソーによる「切れ・こすれ」災害が多発(平成14年から17年で5件発生)

注1:「安全・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○をつけること。

注2:「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3:「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例あり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 福井 ）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	平成17年にフォークリフトを使用中の労働災害が2件発生している。
			安全・RA・衛生	2-(1)	平成17年度に、台車の取扱いによる災害と、染色機を用いた脱色工程における脱色補助剤取扱い作業において中毒災害が発生している。
			安全・RA・衛生	2-(2)	平成16年に爆発事故が発生。平成18年には、構内下請がフォークリフトでH形鋼を吊り上げて死亡事故が発生。親会社の指導により、リスクアセスメントを導入しつつあり、リスクアセスメント診断に意欲的である。
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	平成17年に、ラベル印字工程で、片手を機械に巻き込まれる災害が発生している。巻き込まれ防止対策の改善を要する。
			安全・RA・衛生	3-(4)	繊維シートのコーティング加工において有機溶剤を使用している。第2工場の作業環境を改善する必要が高い。(平成17年においても診断事業対象候補事業場としている。)
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	平成15年以降毎年休業4日以上労働災害を1件以上発生させており、平成17年においては2件となっていることから、安全衛生に係る取り組みが十分に行われていないおそれがある。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れこすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿(山梨局)

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・労働衛生の別	該当する基準	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全・RA・労働衛生	1-(4)	平成17年から平成18年にかけて、食品加工用機械等による挟まれ、巻き込まれ災害が多発していること。(4件)
			安全・RA・労働衛生	2-(2)	リスクアセスメントの実施に意欲的であること。
			安全・RA・労働衛生	3-(2)	平成16年度に衛生管理特別指導事業場に指定されている。平成17年12月に行った有機溶剤健康診断の代謝物検査において、分布2が3名及び分布3が2名であった。
			安全・RA・労働衛生	(1)-ア	非定常作業における無理な作業行動による災害が発生している。
			安全・RA・労働衛生	(1)-ア	無理な作業、不安全な行動による災害が多発している。(行動災害に類するもの。)
			安全・RA・労働衛生	(1)-ア	平成17年に派遣労働者の災害が2件発生している。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかの○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（長野）局

No.1

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[事業場名(中分類)]	所在地	労働者数(概数)	安全・(RA)・衛生	2(1)	非定常作業における機械による、はさまれ災害が多発している(H15以降不休災害を含め4件発生)。
			(安全)・RA・衛生	1(1)-ア	自動車部品製造業であり、機械設備が多種にわたっており、作業手順の作成・見直し及び遵守状況を確認する必要がある。
			安全・RA・(衛生)	3(4)	有機溶剤健診結果(トルエン)の代謝物分布「2」が継続しており、局排の月例及び年次点検の未実施が指摘されている。
			安全・(RA)・衛生	2(1)	
			(安全)・RA・衛生	1(1)-ア	溶解炉にアルミ屑を投入する作業及び液状アルミを砂型に注入する作業で災害発生あり。
			(安全)・RA・衛生	1(1)-ウ	安全管理体制が確立されておらず、はさまれ・まき込まれ災害の対策が不十分。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（長野）局

No.2

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			○安全・RA・衛生	1(2)-ア	
[]	Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（岐阜）局

No.1

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全 RA・衛生	1(1)ア	
			安全 RA 衛生	2(2)	
			安全 RA 衛生	2(2)	
			安全 RA・衛生	1(5)	
			安全 RA・衛生	1(5)	
			安全 RA・衛生	1(1)ア	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（岐阜）局

No.2

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	2(1)	
			安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生	3(1)	平成17年度に8名の鉛中毒発生。 平成18年3月に実施した鉛業務に係る作業環境測定結果において、管理区分3が数箇所あり。
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	1(1)ア	平成17年に、フォークリフト等による休業1カ月以上の労働災害が2件発生している。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (静 岡) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項		
			安全、RA、衛生の別	該当する基準			
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	○安全	RA	衛生	(1)ーア	コンベア等による転倒、はさまれ・巻き込まれ災害が多発している。
			○安全	RA	衛生	(1)ーウ	トラックからの墜落災害、昨年にの落下により死亡災害が発生した。
			○安全	RA	衛生	(1)ーア	ロール機、によるはさまれ・巻き込まれ災害が発生している。
			○安全	RA	衛生	(1)ーウ	女性のパート労働者が多く、タオル巻き取り機やフォークリフトに起因した災害が発生している。
			○安全	RA	衛生	(1)ーア	平成17年に休業1ヶ月以上の災害が2件(はさまれ・巻き込まれ)
			○安全	RA	衛生	(1)ーア	ロール機、によるはさまれ・巻き込まれ災害が多発している。
			○安全	RA	衛生	(3)	外国人労働者が2名被災(2件ともはさまれ・巻き込まれ)
			○安全	RA	衛生	(3)	印刷機械によるはさまれ災害が発生している。
			○安全	RA	衛生	(3)	外国人労働者が2名被災(墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ)

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)、のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、又、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

21

対象候補事業場名簿（静岡）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(3)	機械によるはさまれ災害が発生している。
			安全・RA・衛生	2-(2)	平成17年4月に浜松署で労働安全衛生マネジメントシステムモデル指定した事業場
			安全・RA・衛生	2-(2)	リスクアセスメント手法のさらなる取組が必要
			安全・RA・衛生	2-(1)	食品加工用機械によるはさまれ・巻き込まれ災害が多発等によるため
			安全・RA・衛生	2-(1)	人力運搬機によるはさまれ災害の他、ロール機によるはさまれ・巻き込まれ災害が発生
			安全・RA・衛生	2-(1)	本年度の特安事業場で、巻き込まれ災害が多く、追加指導を必要
			安全・RA・衛生	2-(1)	安全管理指定事業場で、リスクアセスメントの実施効果が期待できるため
			安全・RA・衛生	2-(2)	リスクアセスメントの実施に意欲的である。
			安全・RA・衛生	3-(3)	平成16年度に衛特指定事業場

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)、のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、又、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。（記入例:安全診断の場合(1)ーア等）

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。（記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿 (静岡) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・ <u>衛生</u>	3-(3)	平成18年特衛指定で、有機溶剤による塗装作業における有効な局所排気装置が必要なため
[]	T TEL — —	人	安全・RA・衛生		
[]	T TEL — —	人	安全・RA・衛生		
[]	T TEL — —	人	安全・RA・衛生		
[]	T TEL — —	人	安全・RA・衛生		
[]	T TEL — —	人	安全・RA・衛生		
[]	T TEL — —	人	安全・RA・衛生		
[]	T TEL — —	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)、のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、又、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (愛知)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	災害多発事業場
			安全・RA・衛生	2-(2)	リスクアセスメントの実施に意欲的
			安全・RA・衛生	1-(3)	有機溶剤業務においても問題あり
			安全・RA・衛生	3-(1)	第三類物質(石炭酸)漏洩に起因した二酸化窒素ガス中毒
			安全・RA・衛生	1-(3)	平成15年に2件、平成16年に4件、平成17年には1件の労働者災害が発生しており毎年労働災害が発生している。
			安全・RA・衛生	3の(4)	平成17年に実施した特定化学物質健康診断において所見者が発生している。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (愛知)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	平成18年2月14日に死亡災害があり労働安全衛生法の周知が必要である。
			安全・RA・衛生	1-(3)	
			安全・RA・衛生	2-(2)	特記事項なし
			安全・RA・衛生	2-(2)	
			安全・RA・衛生	2-(2)	リスクアセスメント導入予定であった事業場 平成16年度安特事業場
			安全・RA・衛生	1-(1)-イ	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (愛知)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1-(3)	平成17年度に構内事業場を含め複数の事故発生。事故対策は進捗しているため、潜在的危険箇所の調査が必要と考える。
			安全・RA・衛生	2の(1)	平成17年度及び18年度特別管理安全指導事業場
			安全・RA・衛生	2の(2)	特記事項なし
			安全・RA・衛生	3-(1)	平成18年5月新規じん肺管理区分決定者発生事業場
			安全・RA・衛生	2の(1)	特記事項なし
			安全・RA・衛生	1-(4)	平成12年対象 (診断)

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (愛知)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[]	〒 Tel - -	人	○安全・RA・衛生	1-(1)-ア	特記事項なし
			○安全・RA・衛生	1-(1)ア	
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（三重労働）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
△			安全・RA・衛生	第1の1の(1)の ア	
			安全・RA・衛生	第1の3の(4)	
			安全・RA・衛生	第1の2の(2)	当該事業場においては、リスクアセスメントを実施していないことから、これを踏まえた指導を要する。
			安全・RA・衛生	第1の2の(2)	平成18年度からリスクアセスメントを導入しており実施方法等に関して指導が必要である。
			安全・RA・衛生	第1の1の(2)の ア	重機災害が発生している。
			安全・RA・衛生	第1の2の(2)	機械設備の点検・補修等の作業において作業方法等の不安全活動による災害が多発している。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (三重労働) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[]	〒	人	○安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	安全装置等の不備及び作業方法について問題があると思われる。
			○安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	クレーンを使用した作業中における災害が平成17年度に2件発生している
[]	〒	人	安全・RA・衛生		
[]	〒	人	安全・RA・衛生		
[]	〒	人	安全・RA・衛生		
[]	〒	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（滋賀）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	平成17年 動力機械による災害2件発生
			安全・RA・衛生	第1の2の(1)	平成11年、12年 安全管理特別事業場
			安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	平成17年 休業災害2件発生 粉じん作業、騒音、クレーン、フォークリフト等
			安全・RA・衛生	第1の2の(2)	平成18年リスクアセスメント集団指導出席
			安全・RA・衛生	第1の1の(2)のア	平成17年 休業災害2件(死亡災害1件)発生
			安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	平成17年に死亡災害発生
			安全・RA・衛生	第1の3の(4)	電離放射線健康診断の有所見者が36名

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のイ、ウ、(2)のイ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（京都）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全	1-(2)-ア	建設店社の安全診断を希望する。 (担当者 [Redacted])
			RA	2-(2)	マネキン製造に関連して有機溶剤業務あり。 (担当 [Redacted])
			安全	1-(1)-ア	担当者 [Redacted]
			RA	2-(2)	担当者 [Redacted]
			安全	1-ウ	
			RA	1	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（京都）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[]	Tel - -	人	衛生	3	
			RA	第1-2-(2)	労働安全衛生マネジメントシステム構築を検討中で、リスクアセスメントについて指導援助が必要である。(担当窓口: [])
			安全	1-(1)-ア	採石プラントにおいて、はさまれ巻き込まれ災害が発生した。
			RA	2-(2)	自社において、労働安全衛生マネジメントシステムを構築・運用しているものの、その経験が浅く専門スタッフの指導が必要と考えられるもの。
			RA	2-(1)	
			安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（大阪）局

所轄署	事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
				安全、RA、衛生の別	該当する基準	
大阪中央	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	○安全・RA・衛生	第1-1-(1)-ア	安全管理手法に苦慮している。 末端の労働者の安全活動及び教育手法に苦慮している。
天満				○安全・RA・衛生	第1-1-(1)-ア	当該事業場は平成16年まで労働災害は発生していなかったが、昨年休業4日以上災害が2件発生し、現場及び作業の見直しが有益と思われる。 担当者 [Redacted]
大阪西				○安全・RA・衛生	第1-1-(1)ウ	[Redacted]
淀川				○安全・RA・衛生	第1-1-(3)	[Redacted]
東大阪				○安全・RA・衛生	第1-1-(1)-イ	安全管理特別指導事業場の指定解除後の後戻り防止のため、安全衛生改善計画の進捗状況を確認する必要がある。
岸和田				○安全・RA・衛生	第1-1-(4)	[Redacted]
				[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（大阪）局

所轄署	事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
				安全、RA、衛生の別	該当する基準	
堺				○安全・RA・衛生	第1-1-(1)-ウ	平成18年安全管理特別指導事業場 安全衛生管理活動が不十分 連絡担当者 
羽曳野				○安全・RA・衛生	第1-1-(1)-ウ	
北大阪				○安全・RA・衛生	第1-1-(3)	外国人労働者の災害、平成17年1件(ロール機にはさまれ)災害後ロール機にカバーを設置しているがその状況が適切か確認必要。なお、診断実施は午後にしてほしいという希望あり
泉大津				○安全・RA・衛生	第1-1-(1)-イ	
大阪南				安全・○RA・衛生	第1-2-(2)	
大阪西				安全・○RA・衛生	第1-2-(2)	鉄道軌道レール用ボルトの製造。平成17年所轄署主催マネジメントシステム導入研修会参加事業場

- 注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。
 注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
 (記入例:安全診断の場合(1)-ア等)
 注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
 (記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（大阪）局

所轄署	事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
				安全・RA・衛生の別	該当する基準	
西野田				安全・ RA ・衛生	第1-2-(2)	平成17年度は労働災害発生なし 平成18年度に労働災害発生によりリスクアセスメント導入を指導し、意欲もある。
淀川				安全・ RA ・衛生	第1-2-(2)	平成17年度安全管理特別指導事業場
東大阪				安全・ RA ・衛生	第1-2-(2)	
岸和田				安全・ RA ・衛生	第1-2-(2)	
堺				安全・ RA ・衛生	第1-2-(2)	リスクアセスメント実施事業場 リスクアセスメント実施が不完全の状態 連絡担当者 XXXXXXXXXX
羽曳野				安全・ RA ・衛生	第1-2-(1)	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（大阪）局

所轄署	事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
				安全・RA・衛生の別	該当する基準	
泉大津				安全・(RA)・衛生	第1-2-(2)	
茨木				安全・(RA)・衛生	第1-2-(2)	
大阪南				安全・RA・(衛生)	第1-3-(1)	当該事業場は、平成18年度安全管理特別指導場であるが、平成17年において、腰痛(業務上疾病)が2件発生している。
堺				安全・RA・(衛生)	第1-3-(2)	平成17年度衛生管理特別指導事業場 連絡担当者 [REDACTED]
茨木				安全・RA・(衛生)	第1-3-(2)	平成17年度衛生管理特別指導事業場
	[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 兵庫労働局

事業場名 〔業種名(中分類)〕	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・R A・衛生の別	該当する基準	
			安全・R A・衛生	(1) - ア	1. 過去3年間の災害件数 18 件(平成 15 年 9 件、平成 16 年なし、平成 17 年 9 件) 2. ごみ収集作業中における災害が特に多い 3. 担当者=
			安全・R A・衛生 (外国人)	1 - (3)	1. 外国人労働者(日系ブラジル人)を常時複数雇用しており、その安全衛生管理面に課題を有するもの 2. 担当者=
			安全・R A・衛生	(1) - ア	1. 平成 17 年度の休業災害件数 2 件 2. 担当者=
			安全・R A・衛生	(1) - イ	1. 平成 17 年度の安特指定事業場 2. コイル取扱い作業時の災害多発
			安全・R A・衛生 (再診断)	1 - (4)	1. クレーン等による、はさまれ災害多発 2. 再度の安全診断が適当と認めるもの(平成 13 年度 安全診断)
			安全・R A・衛生	(1) - ア	1. 平成 17 年の休業災害発生件数 2 件。また平成 18 年もすでに同 2 件の災害が起きているもの(はさまれ=コンベヤ災害・荷の落下災害等)。

[安全]・R A・衛生	(1) -ア	<p>1. 平成17年に機械にはさまれる休業災害が発生し、その再発防止対策としての設備改善状況に係る指導・確認が必要。</p> <p>2. 担当者= [REDACTED]</p>
[安全]・R A・衛生	(1) -イ	<p>1. 平成17年度の安特指定事業場</p> <p>2. 休業災害の再発防止対策・安全管理活動に係る追加指導が必要と認めるもの</p> <p>3. 担当者= [REDACTED]</p>
安全・[R A]・衛生	2 - (1)	<p>1. 過去3年の災害発生件数10件(平成15年1件、同16年5件、同17年4件)</p> <p>2. フォークリフト災害、転倒災害等</p> <p>3. 担当者= [REDACTED]</p>
安全・[R A]・衛生	2 - (2)	<p>1. 平成17年度の衛特指定事業場であるが、リスクアセスメントの実施に意欲的であり、コンサルタントによる診断を希望しているもの</p>
安全・[R A]・衛生	2 - (2)	<p>1. リスクアセスメントの実施に意欲的であり、コンサルタントによる診断が有効であると認められるもの</p> <p>2. 担当者= [REDACTED]</p>
安全・[R A]・衛生	2 - (1)	<p>1. 休業災害の発生事業場であって、コンサルタントによる診断の実施が適切であると考えられるもの(R Aに自主的に取組み中)</p> <p>2. 担当者= [REDACTED]</p>
安全・[R A]・衛生	2 - (1)	<p>1. 平成16年度の安全診断対象事業場で、リスクアセスメント診断の実施についても適切であると考えられるもの</p>

	安全・ <input type="checkbox"/> RA <input type="checkbox"/> ・衛生	2 - (2)	1. リスクアセスメントの実施に意欲的であり コンサルタントによる診断を希望している 等、本件指導の効果が期待できるもの
	安全・ <input type="checkbox"/> RA <input type="checkbox"/> ・衛生	2 - (1)	1. 平成17・18年度の安特指定事業場であ って、コンサルタントによるリスクアセスマ ント診断の実施が適切と考えられるもの。
	安全・ <input type="checkbox"/> RA <input type="checkbox"/> ・衛生	2 - (2)	1. 資本金1億円以下 2. 平成17年中に休業災害1件発生 3. リスクアセスメントの実施に意欲的であ り、コンサルタントによる診断の実施が適 切と考えられるもの
	安全・RA・ <input type="checkbox"/> 衛生	3 (1)	1. じん肺の新規有所見者の発生事業場であ って、労働衛生管理上、問題があるもの。 2. 担当者= XXXXXXXXXX
	安全・RA・ <input type="checkbox"/> 衛生	3 (4)	1. 有機溶剤・粉じんの各障害防止対策に係る 局排設備などについて、コンサルタントに よる指導の実施が必要と考えられるもの

注1：「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。いかかる

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、
記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例：安全診断の場合(1) -ア等)

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (奈良) 局

事業場名 [業種名 (中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、R A、衛生の別	該当する基準	
			安全 (R A) 衛生	(1)	過去にプレス機械による災害有り
			安全・R A (衛生)	(4)	有機溶剤業務
			(安全) R A・衛生	(1) -ア	包装機のフィルム交換作業を機械の電源を切らずに行い、手指を機械にはさまれる災害が近年みられた
			安全 (R A) 衛生	(2)	
			安全 (R A) 衛生	(1)	素麺加工用機械について、災害は発生していないものの、危険性が有り、改善が非常に難しい。
			(安全) R A・衛生	(1) -イ	
			(安全) R A・衛生	(1) -イ	

注1：「安全・R A・労働衛生の別」の欄には、安全・R A・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、R A診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例：安全診断の場合(1) -ア等)

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例：「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要有り」等)

対象候補事業場名簿 (和歌山) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(1)-ア	安全衛生に対する意識が低い
			安全・RA・衛生	(1)	動力機械によるはさまれ、巻き込まれ災害が 発生している
			安全・RA・衛生	(4)	有害物質による薬傷が複数回発生している
			安全・RA・衛生	(2)	
			安全・RA・衛生	(1)-イ	H16年度、17年度 安特事業場。 更なるレベルアップを期待。
			安全・RA・衛生	(1)	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れこすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 和歌山 ）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			○安全・RA・衛生	(1)-イ	H14年度 安全事業場 その後 H16年に1件, H17年に2件の労働災害発生
			安全・○RA・衛生	(2)	有機溶剤・特化物・米粉じん作業 現在マネジメントシステム導入を模索中。 (コンサルタントは安全、衛生両方の資格を持つ人を希望)
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（鳥取労働局）

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全、 <input checked="" type="radio"/> RA、衛生の別	2(1)	平成17年にプレス災害1件発生あり。
			<input checked="" type="radio"/> 安全、RA、衛生	1(1)ア	平成17年に感電災害1件発生あり。
			<input checked="" type="radio"/> 安全、RA、衛生	(1)ーア	
			安全、RA、 <input checked="" type="radio"/> 衛生	(2)	平成15年以降の毎年の有機溶剤健康診断において、尿中の馬尿酸の分布2及び分布3の者がいる。
			安全、 <input checked="" type="radio"/> RA、衛生	(2)	鍛造作業にかかわり、さまざまな労働災害が発生している。
[]	〒			安全、RA、衛生	
[]	TEL		人		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 島根 ）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1の(5)	
			安全・RA・衛生	2の(2)	
			安全・RA・衛生	2の(2)	
			安全・RA・衛生	3の(2)	
			安全・RA・衛生	1の(1)の7	
	〒		安全・RA・衛生		
[]	Tel - -	人			

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（岡山）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	2(2)	大きな労働災害は発生していないが、 リスクアセスメントに意欲的 優先順位4
			安全・RA・衛生	1(1)ア	平成18年2月にも機械を停止させずにロールの清 掃中、右手を挟まれる労働災害が発生
			安全・RA・衛生	1(1)ア	射出成形機によるはさまれ災害あり
			安全・RA・衛生	2(2)	RAの導入に積極的であるが、基本的な概要・方 法等が十分に理解できていないため、そこから進 める必要があり 優先順位3
			安全・RA・衛生	2(1)	平成14年度安特指定以降、 安全コンサルタントと継続して契約 優先順位5
			安全・RA・衛生	(4)	粉じん作業環境測定結果、一部第3管理区分あり

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（岡山）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全 ○ RA ・ 衛生	2(1)	労働災害に管理面の問題あり RAについて事業者の強い希望あり 優先順位1
			安全 ・ RA ○ 衛生	2(1)	機械据付の出張作業での災害多発 同一人による工場内での不休災害が頻発 リスクアセスメントの実施始めたばかり 優先順位2
[]	〒 Tel - -	人	安全 ・ RA ・ 衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全 ・ RA ・ 衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全 ・ RA ・ 衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全 ・ RA ・ 衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（広島）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[事業場名・所在地・労働者数等に関する情報はすべて黒塗りされている]			安全・RA・衛生	第1の1の(4)	平成14年度、安全診断実施。
			安全・RA・衛生	第1の2の(2)	平成13年度、衛生診断実施。平成16年以降、休業災害あり。
			安全・RA・衛生	第1の1の(1)のイ	食料品加工用機械による災害多発。
			安全・RA・衛生	第1の2の(1)	作業方法に起因する災害多発。
			安全・RA・衛生	第1の2の(2)	平成17年、じん肺新規有所見者発生。
			安全・RA・衛生	第1の3の(1)	平成17年、じん肺新規有所見者発生。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（広島）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			○安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	機械による「はさまれ災害」多発。
			安全・RA・○衛生	第1の3の(1)	平成18年、構内下請事業場にて、じん肺新規有所見者発生。
			○安全・RA・衛生	第1の1の(1)のウ	平成17年、休業災害多発。
			○安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	
			○安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	食料品加工用機械による災害多発。
	〒 Tel - -	人			

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（山口）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全・RA・衛生	1の(1)のア	安全衛生管理体制の整備及び食料品加工用機械等による災害防止について対策が不十分であること。
			安全・RA・衛生	1の(1)のア	平成15～17年において、8件の休業災害が発生しており、食料品加工用機械等による災害防止について対策が不十分であること。
			安全・RA・衛生	1の(1)のア	平成17年にクレーンによるはさまれ・巻き込まれ災害が発生していること。リスクアセスメント導入中であり、併せてリスクアセスメント診断の要望もあること。
			安全・RA・衛生	2の(1)	リスクアセスメント実施中であり、指導を要望していること。
			安全・RA・衛生	2の(2)	リスクアセスメント未実施であるが、実施に意欲的であること。
			安全・RA・衛生	3の(3)	平成17年に有機溶剤に係る薬症災害が発生しており、安全衛生管理体制の整備、作業環境管理、労働衛生教育等について対策が不十分であること。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。
 注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
 (記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)
 注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
 (記入例: 「食品加工用機械による入れこすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 徳島 ）局

事業場名	所在地	労働者数	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
[業種名(中分類)]		(概数)	安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	第1の2の(1)	機械設備の安全化 労働安全衛生マネジメントシステムの確立
			安全・RA・衛生	第1の2の(2)	安全作業マニュアルの整備 労働安全衛生マネジメントシステムの確立
			安全・RA・衛生	第1の3の(4)	有機溶剤設備の改善
			安全・RA・衛生	第1の2の(2)	機械設備の安全化 労働安全衛生マネジメントシステムの確立
			安全・RA・衛生	第1の1の(1)のA	安全作業マニュアルの整備
			安全・RA・衛生	第1の1の(1)のA	安全作業マニュアルの整備 高年齢労働者の安全対策
			安全・RA・衛生	第1の1の(2)のA	安全作業マニュアルの整備

対象候補事業場名簿（香川）局

事業場名 〔業種名（中分類）〕	所在地	労働者数 （概数）	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、R A、衛生の別	該当する基準	
			○ 安全・R A・衛生	(1)-ア (1)-イ	平成16年度安全管理特別指導事業場 平成17年に食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発
			○ 安全・R A・衛生	(1)-ア	機械によるはさまれ・巻き込まれ災害等が多発
			○ 安全・R A・衛生	(1)-ア	はさまれ・巻き込まれ災害が多発
			○ 安全・R A・衛生	(1)	食品加工用機械によるはさまれ・巻き込まれ災害が多発
			○ 安全・R A・衛生	(1)	構内作業におけるリスクアセスメントの導入及び定着

注1：「安全・R A・労働衛生の別」の欄には、安全・R A・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、R A診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

（記入例：安全診断の場合(1)-ア等）

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

（記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿（香川）局

事業場名 〔業種名（中分類）〕	所在地	労働者数 （概数）	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、R A、衛生の別	該当する基準	
			○ 安全・R A・衛生	(4)	粉じんに係る作業環境測定「第3管理区分」
[]	〒 Tel		安全・R A・衛生		
[]	〒 Tel		安全・R A・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・R A・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・R A・衛生		

注1：「安全・R A・労働衛生の別」の欄には、安全・R A・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、R A診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

（記入例：安全診断の場合(1)－ア等）

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

（記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿（ 愛媛労働 ）局

事業場名 [業種名（中分類）]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、R A、衛生の別	該当する基準	
			○安全・R A・衛生	(1) -ア	安全衛生推進者の職務の徹底
			○安全・R A・衛生	(2) -ア	産業廃棄物処理業において、死亡災害が発生している
			○安全・R A・衛生	(1) -アイ	工場長の安全衛生に対する意識が低調であり、平成13年以降毎年事故を発生させている
			安全・○R A・衛生	(1)	機械設備の安全装置の有効保持
			安全・○R A・衛生	(2)	昨年下請事業場で死亡災害発生、労働安全衛生マネジメントシステムの構築に向け18年度は準備の年度としている
			安全・○R A・衛生	(1)	昨年下請事業場の労働者1名が墜落で死亡、安全衛生管理体制の強化、設備や用具等の点検基準の制定、これによる点検の実施を指導中、
			安全・R A・○衛生	(4)	有機溶剤の作業環境測定結果の評価が第3管理区分であるもの

注1：「安全・R A・労働衛生の別」の欄には、安全・R A・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、R A診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。（記入例：安全診断の場合(1) -ア等）

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

（記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿（高知）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全 ○ RA ・ 衛生	1-(1)-ア	
			安全 ○ RA ・ 衛生	1-(1)-ア	
			安全 ○ RA ・ 衛生	1-(1)-ウ	
			安全 ○ RA ○ 衛生	2-(1)	
			安全 ○ RA ○ 衛生	2-(1)	
			安全 ・ RA ○ 衛生	3-(4)	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（福岡労働局）

署名	事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
				安全、RA、衛生の別	該当する基準	
福岡中央				安全・RA・ <input checked="" type="checkbox"/> 衛生	第1の3の(2)	平成17年度労働衛生管理特別指導事業場
				安全・ <input checked="" type="checkbox"/> RA・衛生	第1の2の(2)	
				<input checked="" type="checkbox"/> 安全・RA・衛生	第1の1の(1)のイ	
大牟田				<input checked="" type="checkbox"/> 安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	クレーン作業に係る行動災害が多発
久留米				安全・ <input checked="" type="checkbox"/> RA・衛生	第1の2の(1)	昨年プレスブレーキによる災害発生。リスクアセスメントの実施に意欲的である
飯塚				<input checked="" type="checkbox"/> 安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	金属加工用機械による切れ・こすれ災害が多発

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（福岡労働局）

No.2

署名	事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
				安全、RA、衛生の別	該当する基準	
				安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	第1の2の(1)	プレス機械によるはさまれ・巻き込まれ災害が多発 有機溶剤中毒(平成17年)発生
				安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生	第1の2の(1)	機械により挟まれ、巻き込まれ災害による休業災害が多発
				安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生	第1の3の(1)	トリクロルエチレンによる中毒、災害等が多発
				<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	
				<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	第1の1の(1)のイ	平成17年度安全管理特別指導事業場
				<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	平成11年以降8件の休業災害が発生

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（福岡労働局）

No.3

署名	事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
				安全、RA、衛生の別	該当する基準	
				安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	
				安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	ロール機による巻き込まれ災害多発
				安全・RA・衛生	第1の2の(1)	平成18年度安全管理特別指導事業場で災害も多発しているため、リスクアセスメントの早急な導入が求められる
	[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
	[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
	[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（佐賀）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全 ○ RA・衛生	1—(1)—ア	過去1年間に3件の災害が発生し、内1件が機械災害で、機械設備の本質安全化が必要と思われる。
			安全 ○ RA ○ 衛生	2—(1)	機械災害による挟まれ災害等6件の災害が発生している。本年度、安特指導事業場である。
			安全 ○ RA ○ 衛生	2—(2)	労働安全衛生マネジメントシステムの導入について検討中、その基盤となるリスクアセスメントの指導が望まれる。
			安全 ○ RA ○ 衛生	2—(1)	リスクアセスメントについて、関心がある。
			安全・RA ○ 衛生	3—(1)	じん肺の新規有所見者が発生している。

注1：「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれか記入すること。(記入例：安全診断の場合(1)—ア等)

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。(記入例：「食品加工機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（長崎）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全 ○ RA・衛生	1-(1)-ウ	
			安全 ○ RA・衛生	1-(1)-ウ	
			安全 ○ RA・衛生	1-(1)-ウ	
			安全 ○ RA・衛生	2-(2)	
			安全 ○ RA・衛生	2-(1)	
			安全・RA・衛生 ○	3-(3)	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)~ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (熊本労働) 局

その1

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	○安全・RA・衛生	1(1)ア	平成11年度安全管理特別指導事業場である。
			安全・○RA・衛生	2(2)	リスクアセスメント導入に意欲的である。
			安全・○RA・衛生	2(2)	マネジメントシステム導入に前向きであり、リスクアセスメントについても既に作成に着手している。
			○安全・RA・衛生	1(1)ア	平成12年以降ほぼ毎年休業災害が発生、特に17年度は休業見込3ヶ月をはじめとして4件発生している。
			○安全・RA・衛生	1(1)イ	平成17年に現工場を新設し、移転したもの。新工場のため、機械設備のレイアウト等の確認が必要。
			安全・○RA・衛生	2(1)	[Redacted]

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には記の第1の2の(1)、(6)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等) 注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (熊本労働局) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、R A、衛生の別	該当する基準	
			安全 (R A) ・ 衛生	2 (1)	
			安全 ・ (R A) ・ 衛生	2 (1) (2)	平成 15 年に休業災害 4 件、16 年 同 2 件、17 年 同 5 件発生。平成 18 年度安特事業場に指定、R A の実施を計画しており意欲的である。
			安全 ・ R A ・ (衛生)	3 (4)	作業環境測定結果は第一管理区分であるが、有機溶剤健康診断結果の代謝物検査結果について分布 2 以上が多くなっている。

注 1 : 「安全・R A・労働衛生の別」の欄には、安全・R A・衛生のいずれかに○をつけること。

注 2 : 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第 1 の 1 の (1) のア、イ、ウ、(2) のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5) のいずれか、R A 診断の場合には記の第 1 の 2 の (1)、(6) のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第 1 の 3 の (1) ~ (4) のいずれかを記入すること。

(記入例 : 安全診断の場合 (1) - ア等)

注 3 : 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例 「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (大 分) 局

事業場名 〔業種名 (中分類)〕	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[]	〒 Tel - -	人	○安全・RA・衛生	(1) イ	
			○安全・RA・衛生	(1) イ	平成17年以降に4件の労働災害が発生しており、中でもコンベアや産業用ロボット等に挟まれる等、機械設備に起因する災害が多く、設備的な安全対策や作業手順に問題があるものと思われる。
			○安全・RA・衛生	(1) ウ	
[]	〒		安全・RA・衛生		

注1：「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1お3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例：安全診断の場合(1)ーア等)

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

別紙 1

対象候補事業場名簿（ 大 分 ） 局

事業場名 〔業種名（中分類）〕	所在地	労働者数 （概数）	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	安全 ○ RA 衛生	2 (1)	機械設備による労働災害防止対策の取組が低調であること。
			安全 ○ RA 衛生	2 (2)	有機溶剤による作業環境測定の結果が第3管理区分であること。
			安全 ○ RA 衛生	2 (1)	安全委員会の設置義務がないため、安全管理に関する事項を衛生委員会で一部討議しているのみである。
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1：「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1お3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

（記入例：安全診断の場合（1）－ア等

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

（記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿（ 大 分 ） 局

事業場名 〔業種名（中分類）〕	所在地	労働者数 （概数）	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全・RA <input checked="" type="radio"/> 衛生	3 (3)	溶接機械周辺の粉じん濃度や騒音レベルの低減に取り組む必要がある。
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1：「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1お3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例：安全診断の場合(1) -ア等

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿(宮崎)局

事業場名 〔業種名(中分類)〕	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全 RA・衛生	(1)-(イ)	・林業現場のほか製材工場の災害発生
			安全 RA・衛生	(1)-(ア)	・木工機械による災害多発
			安全 RA・衛生	(5)	・荷役作業中の災害発生
			安全 RA 衛生	(1)	・食料品加工機械による災害発生 ・食料品加工機械についてリスクアセスメント実施
			安全 RA 衛生	(1)	・有機溶剤(イソプロピルアルコール、酢酸エチル) ・特定化学物質(塩化水素) ・一部の機械についてリスクアセスメント実施
			安全 RA 衛生	(4)	・有機溶剤(イソプロピルアルコール) ・ハンダ付作業 ・作業環境測定等、衛生管理体制の指導必要

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（鹿児島）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			○安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	平成17年10月に死亡災害が発生しています。また、平成16年12月にもチェーンソーによる創傷災害(休業1ヶ月)が発生しており、安全管理に問題があります。
			○安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	平成17年に転倒、墜・転落、崩壊・倒壊災害が発生。特に転倒災害が多発。
			○安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア (1)のイ	食品加工用機械、ベルトコンベアにはさまれ・巻き込まれる災害が多発
			安全・○RA・衛生	第1の2の(1)	第1の1の(1)のアに該当
			安全・○RA・衛生	第1の2の(1)	平成17年に休業4日以上災害が4件発生しています。また、休業4日未満の災害についても多数発生しており、機械設備による災害も認められます。リスクの洗い出しが必要と思われます。
			安全・○RA・衛生	第1の2の(2)	コンクリート2次製品製造を行う。
			安全・RA・○衛生	第1の3の(4)	作業環境測定の結果が第3管理区分作業場がある。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (沖 縄)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全	1の(1)のア	平成17年の労働災害1件のほか、アンモニアの漏洩事故(人的被害なし)も発生した。
			安全	1の(2)	平成17年12月に足場からの墜落事故が発生した直後の平成18年1月に死亡事故が発生した。安全衛生マネジメントシステムの導入について、準備している。
			RA	2の(2)	リスクアセスメントの導入について、準備している。
			RA	2の(2)	工場移転が8月下旬に予定されており、新規機械が導入される。リスクアセスメントの導入について、準備している。
			RA	2の(2)	リスクアセスメントの導入について、準備している。
			RA	2の(2)	リスクアセスメントの導入について、準備している。
			衛生	3の(4)	平成16年以前に、有機溶剤中毒が発生した。プッシュプル型換気装置の新設について、準備している。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)~(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・労働衛生の別
[Redacted]			安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生
			安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・労働衛生の別
 	 	〒	()	安全・衛生
 	 	〒	()	安全・衛生
 	 	〒	()	安全・衛生

注1:記の第1の1の(5)の出稼労働者に係る建設現場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補とそれ以外の事業場の中小企業等安全衛生診断員候補とは、別葉の名簿とすることとし、候補者名簿の標題の(一般用、出稼用)のいずれかに○を付けること。

注2:「安全・労働衛生の別」の欄には、安全、衛生のいずれかに○を付けること。

注3:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			(安全) (RA) 衛生
			(安全) RA 衛生
			(安全) (RA) 衛生
			(安全) (RA) 衛生
			(安全) RA 衛生
			(安全) (RA) 衛生
			(安全) (RA) 衛生
			安全 RA (衛生)
			安全 RA (衛生)
			安全 RA (衛生)
			(安全) RA 衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
[Redacted]			安全・RA
			安全・RA
			安全
			安全・RA
			RA・衛生
	〒	()	
	〒	()	
	〒	()	
	〒	()	

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	
		〒	()	
		〒	()	

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏 名	住 所	電話番号	安全・RA・衛生の別
[Redacted]			安全・(RA)・衛生
			(安全)・RA・衛生
			(安全)・RA・衛生
			(安全)・RA・衛生
			安全・(RA)・衛生
			(安全)・RA・衛生
			安全・RA・(衛生)

平成18年 6 月22日

(社)日本労働安全衛生コンサルタント会 宮城支部

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生

安全管理士・衛生管理士							
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別			
				安全・RA・衛生			
					〒	()	安全・RA・衛生
					〒	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全 <input checked="" type="radio"/> RA <input type="radio"/> 衛生
			安全 <input checked="" type="radio"/> RA <input type="radio"/> 衛生
			安全 <input checked="" type="radio"/> RA <input type="radio"/> 衛生
			安全 <input checked="" type="radio"/> RA <input type="radio"/> 衛生
			安全 <input type="radio"/> RA <input checked="" type="radio"/> 衛生
	〒 以下余白	()	安全 <input type="radio"/> RA <input type="radio"/> 衛生
	〒	()	安全 <input type="radio"/> RA <input type="radio"/> 衛生
	〒	()	安全 <input type="radio"/> RA <input type="radio"/> 衛生
	〒	()	安全 <input type="radio"/> RA <input type="radio"/> 衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全 <input type="radio"/> RA <input type="radio"/> 衛生
		〒	()	安全 <input type="radio"/> RA <input type="radio"/> 衛生
		〒	()	安全 <input type="radio"/> RA <input type="radio"/> 衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

(福島) 局

平成18年度自立的な安全衛生管理活動普及事業診断員候補名簿 (一般用安全衛生・リスクアセスメント)

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント

氏名	住所	電話番号	安全・労働衛生の別	リスク
			衛生	
			安全・衛生	○
			安全・衛生	○
			安全	○
			安全	○
			衛生	
			安全	○
			衛生	
			安全	○
			安全	○
			安全	○

安全管理士・衛生管理士

氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・労働衛生の別 安全・衛生

注1：記の第1の1の(5)の出稼労働者に係る建設現場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補とそれ以外の事業場の中小企業等安全衛生

注2：「安全・労働衛生の別」の欄には、安全、衛生のいずれかに○を付けること。

注3：記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			(安全) (RA) 衛生
			(安全) (RA) 衛生
			(安全) (RA) 衛生
			安全・RA (衛生)
			(安全) RA・衛生
			(安全) (RA) 衛生
			(安全) RA・衛生
			(安全) (RA) 衛生
			(安全) (RA) 衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1：「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること

注2：記号の第1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3：記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

平成18年度中小企業安全衛生診断員候補名簿（栃木局）

登録 番号	氏 名 (専門分野)	住 所 等	電 話 ファクシミリ
[Redacted Content]			

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
[Redacted]			安全・RA・衛生
			安全・RA・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒		安全・RA・衛生
		〒		安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント RA

氏名	住所	電話番号	安全・労働衛生の別
[Redacted]			○安全・ORA・衛生
			○安全・RA・衛生
			○安全・ORA・衛生

安全管理士・衛生管理士

氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・労働衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント RA

氏名	住所	電話番号	安全・労働衛生の別
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	○安全・○ORA・衛生
			○安全・○ORA・衛生
			○安全・○ORA・衛生
			○安全・RA・衛生
			○安全・ORA・衛生
			○安全・RA・衛生
			○安全・ORA・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・労働衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2: 記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3: 記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント、 <u>RA</u>			
氏名	住所	電話番号	安全・労働衛生の別
[Redacted]			安全・○RA・○衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・労働衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1：「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2：記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3：記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント

(千葉労働局)

No.	氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
1				安全 (RA) 衛生
2				安全 (RA) 衛生
3				安全 (RA) 衛生
4				安全 (RA) 衛生
5				安全 (RA) 衛生
6				安全 (RA) 衛生
7				安全 (RA) 衛生
8				安全 (RA) 衛生
9				安全 (RA) 衛生
10				安全 (RA) 衛生
11				安全 (RA) 衛生
12				安全 (RA) 衛生
13				安全 (RA) 衛生
14				安全 (RA) 衛生
15				安全 (RA) 衛生
16				安全 (RA) 衛生
17				安全 (RA) 衛生
18				安全 (RA) 衛生
19				安全 (RA) 衛生
20				安全 (RA) 衛生
21				安全 (RA) 衛生

注1:「安全・RA・衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断候補については、氏名の欄に(RA)記入する。

18年度中小企業等安全衛生診断員候補者名簿〔東京局〕 No.1

労働安全コンサルタント

番号	氏名	〒番号	住所	電話番号	安全・労働衛生の別	備考
1	[Redacted]				安全	
2					安全	
3					安全	
4					安全	
5					安全	
6					安全	
7					安全	
8					安全	
9					安全	
10					安全	
11					安全	
12					安全	

18年度中小企業等安全衛生診断員候補者名簿〔東京局〕

No.2

労働衛生コンサルタント

番号	氏名	〒番号	住 所	電話番号	安全・労働衛生の別	備 考
1					衛生	
2					衛生	
3					衛生	
4					衛生	

18年度中小企業等安全衛生診断員候補者名簿〔東京局〕 No.3

労働安全コンサルタント

番号	氏名	〒番号	住所	電話番号	安全・労働衛生の別	備考
1					RA 安全	
2					RA 安全	
3					RA 安全	
4					RA 安全	
5					RA 安全	
6					RA 安全	
7					RA 安全	
8					LA 安全	
9					RA 安全	
10					LA 安全	

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

No.	氏名	住所	電話番号	安全・衛生の別
1				R/A
2				R/A
3				R/A
4				R/A
5				R/A
6				R/A
7				R/A
8				R/A
9				R/A
10				R/A
11				R/A
12				R/A
13				R/A
14				R/A
15				R/A
16				R/A
17				R/A
18				R/A
19				R/A

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

No.	氏 名	住 所	電 話 番 号	安全・衛生の別
1				安全(外国人)
2				安全(外国人)
3				安全(外国人)
4				安全
5				安全
6				安全
7				安全
8				安全
9				安全
10				安全
11				安全
12				安全
1				衛生
2				衛生
3				衛生

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号 ファックス	安全・RA・衛生の別
			○安全 RA・衛生
			○安全 ○RA 衛生
			○安全 RA・衛生
			○安全 ○RA 衛生
			○安全 ○RA 衛生
			○安全 ○RA 衛生
			○安全 RA ○衛生
			○安全 ○RA 衛生
			○安全 ○RA ○衛生
			○安全 ○RA 衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全・RA・衛生
			安全・RA・衛生
			安全・(RA)・衛生
			安全・RA・衛生
			安全・(RA)・衛生
			安全・(RA)・衛生
			安全・RA・(衛生)
			安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生

注:対象事業場数が8、うちRA対象が4のため、RA担当コンサルタントの1人が2事業場を担当予定。

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

(石川局)

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
ふりがな 氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			<input type="checkbox"/> 安全・ <input type="checkbox"/> RA・ <input type="checkbox"/> 衛生
			<input type="checkbox"/> 安全・ <input type="checkbox"/> RA・ <input type="checkbox"/> 衛生
			安全・ <input type="checkbox"/> RA・ <input type="checkbox"/> 衛生
			安全・ <input type="checkbox"/> RA・ <input type="checkbox"/> 衛生
			安全・ <input type="checkbox"/> RA・ <input type="checkbox"/> 衛生

安全管理士・衛生管理士				
ふりがな 氏名	所属団体	所在地	電話番号	安全・労働衛生の別

注1：「安全・RA労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2：記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3：記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント				
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別	
[Redacted]			安全・RA・ <input checked="" type="checkbox"/> 衛生	
			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・RA・衛生	
			安全・ <input checked="" type="checkbox"/> RA・衛生	
			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・RA・衛生	
			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・RA・衛生	
			安全・ <input checked="" type="checkbox"/> RA・衛生	
	〒	()	安全・RA・衛生	
	〒	()	安全・RA・衛生	
	〒	()	安全・RA・衛生	
安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
[Redacted]			安全・RA・衛生
			安全・RA・衛生
	〒		安全・RA・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
安全管理士・衛生管理士				
		〒		安全・RA・衛生の別
		〒		安全・RA・衛生の別
		〒		安全・RA・衛生の別

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・労働衛生のいずれかに○を付けること。

注2: 記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3: 記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・労働衛生の別
			安全・RA・ <input checked="" type="checkbox"/> 衛生
			安全 <input checked="" type="checkbox"/> RA・衛生
			安全 <input checked="" type="checkbox"/> RA・衛生
			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・RA・衛生
			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・RA・衛生
			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・RA・衛生
			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・RA・衛生
			安全・RA・衛生
			安全・RA・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・労働衛生の別
		〒		安全・RA・衛生
		〒		安全・RA・衛生
		〒		安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

(岐阜労働)局

中小企業安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			○安全・RA・衛生
			○安全 ○RA・衛生
			○安全 ○RA・衛生
			○安全・RA・衛生
			○安全 ○RA・衛生
			安全・RA ○衛生
以下空白			

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

の欄に(RA)と記入すること。

別紙2

(静岡)局

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・労働衛生の別
[Redacted]			安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生
			安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生
			安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2: 記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3: 記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

安全管理士・衛生管理士				
氏 名	所属団体	住 所	電 話 番 号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2: 記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3: 記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏 名	住 所	電話番号	安全・R A・衛生の別
			安全・R A・衛生

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏 名	住 所	電話番号	安全・R A・衛生の別
			安全・R A・衛生

別紙2

(三重労働)局

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント				
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別	
			<input checked="" type="radio"/> 安全	<input checked="" type="radio"/> RA・ <input type="radio"/> 衛生
			<input checked="" type="radio"/> 安全	<input checked="" type="radio"/> RA・ <input type="radio"/> 衛生
			<input checked="" type="radio"/> 安全	<input checked="" type="radio"/> RA・ <input type="radio"/> 衛生
			<input checked="" type="radio"/> 安全	<input checked="" type="radio"/> RA・ <input type="radio"/> 衛生
			<input checked="" type="radio"/> 安全	<input checked="" type="radio"/> RA・ <input type="radio"/> 衛生
			<input checked="" type="radio"/> 安全	<input checked="" type="radio"/> RA・ <input type="radio"/> 衛生
			<input checked="" type="radio"/> 安全	<input checked="" type="radio"/> RA・ <input type="radio"/> 衛生
			<input type="radio"/> 安全	<input checked="" type="radio"/> RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生
			<input type="radio"/> 安全	<input type="radio"/> RA・ <input type="radio"/> 衛生
			<input type="radio"/> 安全	<input type="radio"/> RA・ <input type="radio"/> 衛生
安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	<input type="radio"/> 安全・ <input type="radio"/> RA・ <input type="radio"/> 衛生
		〒	()	<input type="radio"/> 安全・ <input type="radio"/> RA・ <input type="radio"/> 衛生
		〒	()	<input type="radio"/> 安全・ <input type="radio"/> RA・ <input type="radio"/> 衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2: 記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3: 記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

別紙2

(滋賀)局

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全・RA・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2: 記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3: 記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全
			安全
			安全・RA
			安全・RA
			安全
			安全
			安全・RA
			安全・RA
			安全・RA

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全・RA
			衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
[Redacted]			○安全・RA・衛生
	T	()	安全・RA・衛生
	T	()	安全・RA・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		T	()	安全・RA・衛生
		T	()	安全・RA・衛生
		T	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全・ <input type="radio"/> RA・衛生
			安全・ <input type="radio"/> RA・衛生
			安全・ <input type="radio"/> RA・衛生
			安全・ <input type="radio"/> RA・衛生
			安全・ <input type="radio"/> RA・衛生
			安全・ <input type="radio"/> RA・衛生
			安全・ <input type="radio"/> RA・衛生
			安全・ <input type="radio"/> RA・衛生
			安全・ <input type="radio"/> RA・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生
			安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生
			安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全・RA・衛生
		()	安全・RA・衛生
		()	安全・RA・衛生

安全管理士・衛生管理士

氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			()	安全・RA・衛生
			()	安全・RA・衛生
			()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			○安全・RA・衛生
			○安全・RA・衛生
			○安全・○RA・衛生
			安全・RA・○衛生
			○安全 ○RA ○衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
				安全・RA・衛生
				安全・RA・衛生
				安全・RA・衛生

注 1 : 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○をつけること。

注 2 : 記の第 1 の 1 の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注 3 : 記の第 1 の 2 に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			○安全・RA・衛生
			安全・○RA・衛生
			安全・RA・○衛生
			○安全・RA・衛生
			安全・RA・○衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生

安全管理士・衛生管理士

氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
[Redacted]			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生
			安全・ <input checked="" type="radio"/> RA・衛生
			<input checked="" type="radio"/> 安全・RA・衛生
			安全・RA・ <input checked="" type="radio"/> 衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

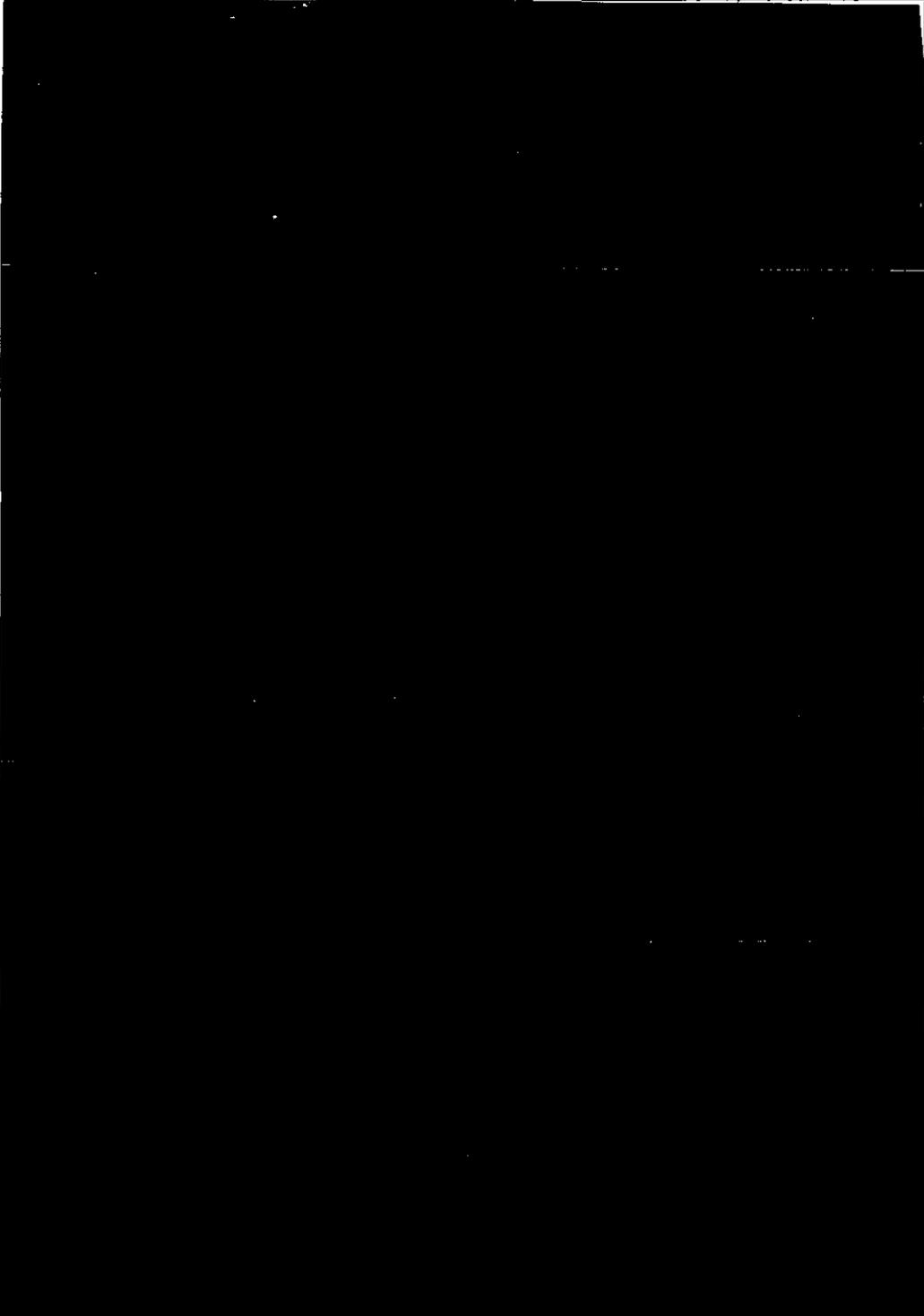
注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

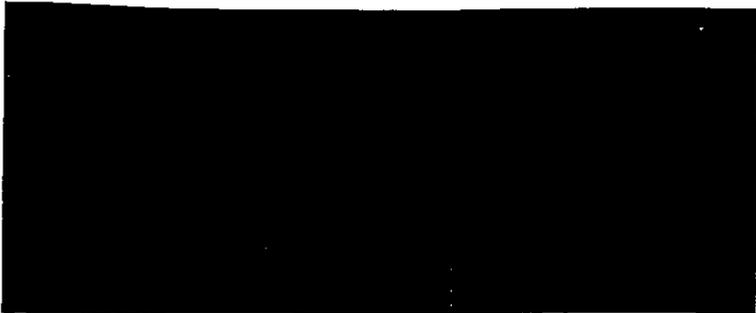
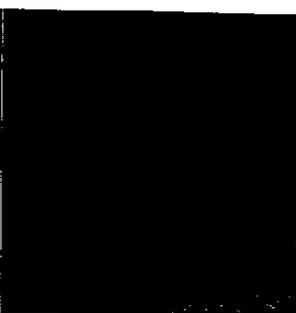
注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント

氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			○安全・○RA・衛生
			○安全・○RA・衛生
			○安全・○RA・衛生
			○安全・○RA・○衛生
			○安全・○RA・衛生
			○安全・RA・衛生
			○安全・○RA・衛生
			○安全・RA・衛生
			○安全・○RA・衛生
			○安全・○RA・○衛生
			○安全・○RA・衛生
			○安全・○RA・衛生
			安全・RA・○衛生
			○安全・RA・○衛生
		安全・RA・○衛生	



		○安全・RA・衛生
		○安全・RA・衛生
		○安全・ORA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○をつけること

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。



中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全・RA・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			()	安全・RA・衛生
			()	安全・RA・衛生
			()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全・ <input type="checkbox"/> RA <input type="checkbox"/> ・衛生
			安全・ <input type="checkbox"/> RA <input type="checkbox"/> ・衛生
			<input type="checkbox"/> 安全 <input type="checkbox"/> ・RA <input type="checkbox"/> ・衛生
			<input type="checkbox"/> 安全 <input type="checkbox"/> ・RA <input type="checkbox"/> ・衛生
			安全・ <input type="checkbox"/> RA <input type="checkbox"/> ・衛生
			<input type="checkbox"/> 安全 <input type="checkbox"/> ・RA <input type="checkbox"/> ・衛生
			安全・RA <input type="checkbox"/> ・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA <input type="checkbox"/> ・衛生
		〒	()	安全・RA <input type="checkbox"/> ・衛生
		〒	()	安全・RA <input type="checkbox"/> ・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏 名	住 所	電話番号	安全・RA・労働衛生の別
			○ 安全 RA 衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏 名	所属団体	住 所	電話番号	安全・RA・労働衛生の別
				安全 衛生
				安全 衛生
				安全 衛生

注 1 : 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注 2 : 記の第 1 の 1 の (3) の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に (外) と記入すること。

注 3 : 記の第 1 の 2 に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に (RA) と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント ・ 労働衛生コンサルタント			
氏 名	住 所	電 話 番 号	安全・R A・衛生の別
			安全・R A・衛生

安全管理士 ・ 衛生管理士				
氏 名	所 属 団 体	住 所	電 話 番 号	安全・R A・衛生の別
				安全・R A・衛生
				安全・R A・衛生

- 注 1 : 「安全・R A・労働衛生の別」の欄には、安全、R A、衛生のいずれかに○を付けること。
- 注 2 : 記の第 1 の 1 の (3) の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に (外) と記入すること。
- 注 3 : 記の第 1 の 2 に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に (R A) と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生
			安全 ○ RA ・ 衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏 名	住 所	電話番号	安全・R A・衛生の別
			安全 ○ R A ○ 衛生
			安全 ○ R A ○ 衛生
			安全 ○ R A ○ 衛生
			安全 ○ R A ○ 衛生
			安全 ○ R A ○ 衛生
			安全・R A・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏 名	所属団体	住 所	電話番号	安全・労働衛生の別
	〒		()	安全・R A・衛生
	〒		()	安全・R A・衛生

注 1: 「安全・R A・労働衛生の別」の欄には、安全、R A、衛生のいずれかに○を付けること。

注 2: 記の第 1 の 1 の(3)の外国人労働者に係る事業所を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注 3: 記の第 1 の 2 に係る事業所を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(R A)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全・RA (衛生)
			(安全) (RA) 衛生
			(安全) (RA) 衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生
	〒	()	安全・RA・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

(熊本労働)局

中小企業等安全衛生診断員候補名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏 名	住 所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			○安全・RA・衛生
			○安全・○RA・衛生
			○安全・○RA・衛生
			○安全・○RA・衛生
			○安全・RA・衛生
			○安全・RA・衛生
			○安全・○RA・衛生
			○安全・RA・衛生
			安全・○RA・○衛生
			安全・RA・○衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏 名	所属団体	住 所	電話番号	安全・労働衛生の別
			()	安全・RA・衛生
			()	安全・RA・衛生

- 注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。
 注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。
 注3:記の第1の1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安 全
			安 全
			安 全
	〒		
	〒		
	〒		

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別

注 1 : 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注 2 : 記の第 1 の 1 の (3) の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に (外) と記入すること。

注 3 : 記の第 1 の 2 に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に (RA) と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
[Redacted]			R A
			R A
			R A
	〒		
	〒		
	〒		

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別

注1：「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2：記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3：記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			衛生
	〒		
	〒		
	〒		
	〒		
	〒		

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別

注 1 : 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注 2 : 記の第 1 の 1 の (3) の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に (外) と記入すること。

注 3 : 記の第 1 の 2 に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に (RA) と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント			
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			安全 ○ RA ・衛生
			安全 ・ RA ○ 衛生
			安全 ○ RA ・衛生
			○ 安全 ・ RA ・衛生
			○ 安全 ・ RA ・衛生
			○ 安全 ・ RA ・衛生
	〒	()	安全 ・ RA ・衛生
	〒	()	安全 ・ RA ・衛生
	〒	()	安全 ・ RA ・衛生

安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全 ・ RA ・衛生
		〒	()	安全 ・ RA ・衛生
		〒	()	安全 ・ RA ・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント				
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別	
			安全・RA・衛生	
		()	安全・RA・衛生	
		()	安全・RA・衛生	
		()	安全・RA・衛生	
安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
			()	安全・RA・衛生
			()	安全・RA・衛生
			()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

別紙2

(沖 縄) 局

中小企業等安全衛生診断員候補者名簿

労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタント				
氏名	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別	
			安全・RA・衛生	
			安全・RA・衛生	
			安全・RA・衛生	
	〒	()	安全・RA・衛生	
	〒	()	安全・RA・衛生	
	〒	()	安全・RA・衛生	
	〒	()	安全・RA・衛生	
	〒	()	安全・RA・衛生	
	〒	()	安全・RA・衛生	
安全管理士・衛生管理士				
氏名	所属団体	住所	電話番号	安全・RA・衛生の別
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生
		〒	()	安全・RA・衛生

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○を付けること。

注2:記の第1の1の(3)の外国人労働者に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(外)と記入すること。

注3:記の第1の2に係る事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員候補については、氏名の欄に(RA)と記入すること。

(別添2)

基安安発第 0831002 号

基安労発第 0831002 号

基安化発第 0831002 号

平成 18 年 8 月 3 1 日

社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会会長 殿

厚生労働省労働基準局安全衛生部

安 全 課 長

労 働 衛 生 課 長

化学物質対策課長

平成 18 年度自律的安全衛生管理活動普及促進事業
(労働災害防止特別安全衛生診断事業) 実施細目について

自律的安全衛生管理活動普及促進事業(労働災害防止特別安全衛生診断事業)については、平成18年5月15日付け基発第0515001号「自律的安全衛生管理活動普及促進事業(労働災害防止特別安全衛生診断事業)の実施について」の別添「自律的安全衛生管理活動普及促進事業(労働災害防止特別安全衛生診断事業)実施要綱」に基づき実施することとされており、その細目については別に定めることとされていますが、平成18年度の本事業について、別添のとおり「平成18年度自律的安全衛生管理活動普及促進事業(労働災害防止特別安全衛生診断事業)実施細目」(以下「実施細目」という。)を定めましたので御了知いただくとともに、下記に御留意の上、本事業の円滑な実施をよろしくお願いいたします。

記

- 1 対象事業場は、別紙1に示す事業場とすること。なお、事業場名の左側に「(予)」と示した事業場については、今回対象としないが、対象事業場の協力が得られなかった場合等に順次対象とされたい。
- 2 中小企業等安全衛生診断員は、別紙2に示す候補者の中から貴会にて選任していただくこと。

また、外国人労働者の労働災害が発生した事業場を担当する中小企業等安全衛生診断員については、別紙2の氏名の欄に(外)と記した者を、リスクアセスメント診断に係る中小企業等安全衛生診断員については、貴会の労働安全衛生マネジメントシステム監査員として登録されている者等リスクアセスメントに係る知識・経験を有する者を充てるよう配意していただきたいこと。